

真田孔明@四柱推命鑑定士による「命運の門鑑定」

「命運の門鑑定」によって宿命・性格・価値観・才能・適職を算出。最も「財運」が発動しやすい状態を発掘。



「命運の門鑑定」 真田孔明(さなだ・こうめい)@ 四柱推命鑑定士

◆プロフィール◆



『他では絶対聞けない！お金を増やす究極のしくみ (KADOKAWA/角川学芸出版社)』著者
日本最大手玩具メーカー海外営業&マーケティング担当として働く傍ら、インターネット上のメルマガ、ブログ、SNSを介した運命調整(命名・世界観・キャラクター設定)に特化したビジネス・経営コンサルタントを開始。これまで **3,000名** を超えるビジネスマンたちの運命調整をすることで、**年間億単位の収入を稼ぎ出す成幸者を多数排出**してきた。海外法人活用のスペシャリストでもあり、香港・マレーシア・コソボなど、7の海外法人の経営 or 筆頭株主。経済的な成幸を得た後は、華僑に伝わる「門」と「命運のシナリオ」を元にしたビジネス専門の四柱推命鑑定士として、ビジネスマンを対象とした運命調整活動を行いながら、現在は次世代のリーダー的人材育成のため、大富豪や仙人など「生きる伝説」たち直伝の戦略術が凝縮されている「禁断の帝王学」の啓蒙活動を行っている。

○「命運の門鑑定」によって宿命・性格・価値観・才能・適職を算出。最も「財運」が発動しやすい状態を発掘。

真田孔明が「命運の門鑑定」を元に、「命」を知り「運」を見方につける人と金を集める力、「財運」を発動させる方法を算出。

今やっている仕事は宿命通りか？自分にとっての適職は何なのか？運を味方につけるためにはいつ何をすればよいか？人とお金が集まる「財運」を発動させ、迷いなく、力強く歩み続けるために…。

ビジネスを推進するための体と心の状態を洗い出し対策を立てる。「命運の門鑑定」だから可能な、お金に関するフィールドに特化した鑑定を行う。

本当にそれは「適職」だろうか？今の「収入」に満足できているだろうか？日々のビジネス活動に夢中になれるだろうか？ビジネスの対価としての収入に満足できているだろうか？

もしも今日時点で何かしらの不満を心の中に抱えているとしたら…高い確率で宿命通りのビジネスに臨めていないはず。

「キミはこれから〇〇するといい。きっと上手くいく。」

あの時の「華僑大富豪」の一言が孔明の運命を変えた。生まれてはじめて心の奥底に眠っていた本当の自分に巡りあうことができた。

「一体どこに向かえばいいのだろうか…」

かつての孔明も、目の前に沢山存在する無数の選択肢の中から、どの道を選択し、歩いて行けばいいのか分からなかった。進んでは引き返したり、別の道を選んでみたりを繰り返し、途方にくれていた。

けれども、あの日を境に、生まれながらの囚われ、生まれながらのアビリティを知ることができた。

その結果…迷うことなく一つの「自分」だけを選択。力強く歩むことができるようになった。すると突然、勤務していた会社の中で、周りの同僚たちよりも、自分が急速に成長して行くのを感じた。

結果的に、現役サラリーマンとしての本業の中でも、アフター5の活動の中でも、普通では考えられないレベルの「ビジネスで稼ぐ」という結果を叩きだせるようになったのだ。

なぜ、一介のサラリーマンに過ぎなかったにも関わらず、毎日2時間ほどの副業としての活動だけで、サラリーマンの年収を超えるお金を毎月稼げていたのか？

なぜ、サラリーマンの父、地方公務員教員職の母という、平凡な家庭で生まれ育ったにも関わらず、次から次へと、本物の情報をもたらしてくれる、大富豪たちや神がかった力を持つ人たちを、引き寄せ、実際に協力して頂けるのか？

なぜ、独立起業後も、一流のパートナーたちに囲まれて、彼らからの助けを得ることで、多くの人たちに影響力を与えるビジネスを構築し遂行できるのか？

なぜ、海外の僻地とも言われる辺鄙な場所に住んでいるにも関わらず、誰よりも先回りする形で、大きな人の流れが生まれる場所を読み、ビジネスを構築したり投資をしたりできるのか？

その理由は、**自分に合ったたったひとつの方法**だけを選出する、**大宇宙の物理法則**に基づいた原理原則。本場「華僑の大富豪」たちが巨億のビジネス・投資の活動の中で、水面下で密かに用いている**門外不出の秘術「門」**を知り、活用しているからに他ならない。

本当の自分を知ると人生は変わる。

「私の場合、最初にセルフチェックした「門」と、生まれ持った「門」がずれていて、生まれ持った「門」に合わせた方が楽だったので、そこを強調して活動します！」

・・・こういう方が後を絶たないが、「門」を知ると、本当の自分に巡り合える。

自己分析手法と自己成長システム「モングラム」を用いて、己(おのれ)を知り、己(おのれ)を使いこなす「門」。

「門」は生まれながらに天より授かりし、**己(おのれ)が資質を余すところなく生かす**ための術。現代社会における勝負や戦い事に使うこともできれば、各々の資質を活かして組み合わせ、共に繁栄するための縁とすることもできる。

修羅を生き抜くことにも、和を創り出すことにも使える秘術。己(おのれ)を知る、他人を知る、人と人が各々の違いを知り、認め、生かし合う。

まずは己(おのれ)が幸せのため、仲間の幸せのため、ゆくゆくは大自然との調和のため。今も尚、進化成長し続ける我々人類を「門」という視点から、研究する活動は「門協会」によって続いている。

なぜ、大きな失敗をしても、それが致命的には至らず、逆に失敗から得た経験を、自分の力に取り込み、新たな産みの原動力に転換できるのか？

「門」は「命理」「鑑命」の先にある学問。

「子平(八字)・四柱推命」や「紫微斗数」などの「命理」と呼ばれる、生年月日時「易卦」や「干支」を基に、個人の体質や才能、適性などを算出することが可能。しかし、「門」は「命理」「鑑命」の先にある部分。体質や才能、適性などを経済活動の中で、具体的に活用するための方法部分の研究に重きを置いている学問。

ゆえに実社会の中で「門」を自由自在に使いこなす「門使い」たちは、一人ひとりの生年月日時を調べる「鑑命」という行為を行わなくとも、言動やその場の状況に合わせて取り組むビジネスの組織編成、人材の活用ができる。限りある人材を兵器・武器として、目的遂行のために活用できるのである。

このような背景から、「門」では、個人の体質や才能、適性などを算出した後の、人材の活用方法部分が最も強く、経済活動を中心として、時代の変化に合わせて研究が重ねられ、今なお進化成長を遂げている。

「四柱推命」や「紫微斗数」を行う熟練の術師でさえ、別途「門協会」を通して「門」を学び活用しているのは、「門」が「過去の統計学」に囚われることなく、現在、そして未来の研究を「経済」という視点から、深く研究されている学問であるからだ。

ただし「門協会」では、「四柱推命」などの「鑑命」との融合も積極的に取り組んでいる。結果、「門」は、過去、現在、未来を網羅する、五術(命・卜・相・医・山)の中の「命」の一つ判断方法として位置づけられている。

巷の「命理」と異なるのは、金融資本主義の問題解決手法にこだわるところ。

占師の類の人に「**あなた死ぬよ**」というようなことを、言われたことがある。確かに人間いつかは必ず死ぬのだが生きている間に、そういうことを言われると、非常に腹が立つ。死んでから言って欲しいものだ！

世の中には、命理や占術を使って鑑(み)た結果・・・算出した問題だけを言うてくる占師の類が多い。「**結婚できないよ**」「**あなた死ぬよ**」「**お金が稼げないよ**」と。けれども、我々が本来、「命理」に求めていることは、問題自体をあげられ脅されることではなく、問題の 解決方法自体が知りたいだけなのだ。

問題だけしか挙げられない「命理」は、人生の中で必要のないこと

「門」では、問題を抱えていることを前提に物事を攻略して行く。「オリンピック金メダリストの大多数は、とんでもないレベルの怪我などの問題を抱えたままの状態です勝利を勝ち取っている。」・・・という部分が重要。

我々の人生の中で、ビジネスにしる、プライベートにしる、問題はどのみち必ず良いことの表裏一体についてまわる。

問題発見自体ではなく、予め問題自体があることを前提に、金融資本主義の世の中において、結果を出すことにこだわる「命理」が重要。

生まれながらの囚われ、生まれながらのアビリティ。算出した後に続く。**自分自身を兵器・武器として、目的遂行のために活用する部分を追求して行く**「門」という学問を、新たに人生の指針の一つとして採用して行くことは非常に有意義なことだ。

「命運の門鑑定」で「財運」を味方にできる体質に調整する

金融資本主義の世界で「財運」を発動させ、大成功をすることができる、ごく一握りの一部の者たち。ビジネスの世界で億の単位の「財」を動かせるようになる者たちは、偶然そうになっているのか？

実は、彼らの大部分には、**陰陽五行説**に基づいた術師がついていて、術師の助言を頼りに、ビジネスの世界での判断をしている。つまり宿命に基づいた運命調整を行いながらビジネスを行っている場合が多い。

宿命を明確化させ、人とお金を引き寄せる「財運」を味方にできる体質に調整しながら、ビジネスの分野で歩み進んでいるという共通点が見受けられる。

事実として、日本国内、海外問わず、真田孔明がこれまで出会ってきた大富豪たちの大部分は、術というものを何よりも重要視していて、そのことが言動に現れていた。

世の中には術を駆使することなくビジネスの世界で成り上がることができた者たちもいる。けれども、彼らに共通していることがある。それは、一時億単位の「財」を掴みとったと思えば、億単位の「財」を失う。大成功と大失敗を繰り返す人生を送っていることだ。

「大当たりの大成功-大失敗」の一周期には約 10 年間に要するので、そうこうしている内に、心身の気を大幅に浪費させる形で年を取っていく。気がつけば若かりし頃のように、有り余るエネルギーを武器に奮起することができないまま、かつての思い出に浸りながら、残りの人生を送っていくパターンが多く見られる。

一方、術を重要視している経営者は、宿命、運、風水を味方に、攻めるところは攻め、守るべきところは身を潜める。大きく飛ばすこと無く、着々と中長期で右肩上がりの人生を歩むことができる。

本当の成功者と呼ばれる者たちは、例外なく、術を武器にビジネスの活動を行っているのである。

「命運の門鑑定」によって、「門」と「命運のシナリオ」に基づく生まれながらの囚われ、アビリティを算出する。

すると、宿命に沿って進む者に対して、運が味方するようになり、必要な時に必要なタイミングで、適切な判断・決断をすることができるようになる。

つまり、最短の時間・労力で、目標成就をすることができる。すなわち、ビジネスの分野で成功者と言われる立場を掴みとることができるようになる。ビジネスの活動に特化した鑑定。

真田孔明@四柱推命鑑定士による「命運の門鑑定」の流れ



年・月・日・時などの基本情報を提出。生まれた年・月・日・時と場所の情報、さらには活動名（本名・ビジネスネームどちらでも可）を提出。

(例)1970年9月21日、午前1時05分頃・男性・名古屋

↓「門」を算出

- (1)「門」に基づく生まれながらの囚われ・アビリティを算出
- (2)「門」に基づく適職を算出
- (3)「門」の気質を算出
- (4)「門」に基づく言動の特徴を算出
- (5)「門力」が高まることで起こる事象を算出
- (6)「門」に基づく成功のイメージ
- (7)「門力」の暴走によって起こる事象を算出
- (8)「門力」を高めるための日々の言動・鍛錬方法を算出
- (9)「門」の配置に基づく生涯の「財運」に関する囚われと変化を算出
- (10)「門」に基づく「財運」の発動方法を算出
- (11)「門」に基づく生涯のビッグイベント(結婚、出産、財運)の勝負時(10年単位、1年単位)を算出
- (12)「門力」を高められる時間、色、数のエネルギーを算出
- (13)「門」を活用して目的達成するための風水グッズ、お守り、参拝場所を算出
- (14)「門」を活用して目的遂行するためのパートナー候補を算出
- (15)「門」を活用して目的遂行するためのミライの「命運のシナリオ」を算出

真田孔明との「命運の門鑑定」によって算出する、生まれながらの囚われ、アビリティ、ミライの命運のシナリオを詳細に渡り知る。

「命運の門鑑定」を受けた方々の感想



Y.H.さん(女性):今までの常識が崩れたような感じがしました。鑑定や話を聞いて頂く中で気持ちや考えが整理でき、背中を後押しされたように思います。お話も新鮮で面白かったです。

T.M.さん(女性):私は門の特性をしっかり活かした仕事についており私の今後の仕事の展開も、お話すると門の特性とどハマリでした。なので、深く自信を持つことが出来ましたし確信へと繋がりました。自信と確信は、門の発動を更に活発にさせてくれるでしょう。今後が楽しみです。

T.A.さん(女性):子どもの頃から気になっていることがあることがきっかけで1年半前に、門鑑定をしていただきました。(孔明さんではない方です)が、結局どうしていけばよいのかがわからない状態のため、自分に自信を持ち、今後の生き方に活かすことができれば、と思い参加させていただくことにいたしました。自分が思っていた門と違っていただけには驚きましたが、ずっと気になっていた主人との関係については他にも同じ思いをされている方がおられると知り、私自身に非があるわけではないことがわかりすっきりしました。今後についての方向性も細かいところまでプランを教えていただけるととても心強かったです。

K.D.さん(男性):さわり程度はお伺いしていましたが、その部分を中心として今回も話をさせていただいたので、やはりその流れが自分の中に巡って来ている事を確信！私にあった具体的な戦略術やキャラ設定、兆しについても教えて頂けたので、あとはやるかやらないかだけです。兆しの星も何種類もあって、多い方なのか普通なのかはよく分かりませんが、発動させた時に活かし方も聞けたので良かったです。ほとんどの内容がよそでは言えない内容でしたが、ボーイズトークも織り交ぜながら二人で盛り上がっていたので楽しかったです。自分の中では意外な部分が実はあると言われ、ただ楽しく無かったから継続出来なかつただけ。この辺りは陽創門なので余計にそうだったのかもかもしれません。



K.M.さん(30代男性):10年以上前から孔明さんの情報発信を拝見してきましたが、今回やっと実際にお会いして鑑定を受けられることを大変楽しみにしておりました。 なんとか時間を捻出して香港まで飛んだ価値は十二分にあり。“自分に対して許可を出せた”、そんなパラダイムシフトが起きたと思います。 ビジネスをはじめ、何かをやるにあたって しっかり考えてからでないと動けない。よく言えば「熟考型」といえますが、いかんせん行動スピードが遅いのがこれまでの自分の悩みでした。しかし、孔明さんの鑑定により、そういう性向は〇〇門だから当然であること。むしろ、しっかり落ち着いてしっかり考えてから動くからこそ、深みが出て、まわりからの信頼につながっているのだということをご指摘いただき、自分はそのままで良いのだとすごく気持ちが軽くなりました。また、〇〇門らしくこれまでいろいろと情報収集し、学んできたもののいまいち経済的にうまくいっていませんでしたが、孔明さんの一言によって、財運発動のキーはいたってシンプルなものであり、僕の場合、あとはそれをやるかやらないかだけであることにも気づかされました。こんなにシンプルなことだったとは…。やり方自体はもうわかっているのだから、あとはやるだけです！さらに、結婚についても、“〇〇した相手と〇〇を〇〇のではなく、〇〇〇が〇〇た相手と結婚する”という考え方を提示いただいたときは衝撃が走りました。これまた、従来の常識から脱し、自分のなかのパラダイムを大きく転換させてくれる見方でした。今回、過去10年以上見続けてきた孔明さんのどの情報発信よりも影響をいただくことができた。唯一残念さを感じたことといえば、もっと早く参加すれば良かったということですね(笑)

K.H.さん(50代男性):これからビジネスで目指すべき方向を命運からアドバイスいただきました。商品やスキルからでは無くて具体的な顧客像からの示唆。まったくその観点は無かった！！「Hさんには〇がはいつているので『〇〇歳代〇性でキラキラ〇〇〇〇をやっている方』とかは実は〇しいのでそういう方に向けていいですね」→超具体的なターゲットをありがとうございました！経営に関しては二つの重要なことを教えていただきました。「経営者の仕事は〇〇〇と〇〇〇〇〇〇」ということがとても良く分かりました。〇〇〇〇〇はその場では具体的には良く分からなかったのですが、翌日朝ホテルでシャワーを浴びているときに突然答えが降ってきました！迷うこと無くシンプルな方法ですよ！

M.N.さん(30代女性):何を言われるのかドキドキでスタートした門鑑定。孔明さんの話やすい雰囲気いつの間にかドキドキから笑い声に変わっていました。内容は、自分自身が抱えていたコンプレックスは、門が影響していることやそれが自分の長所であること、自分らしくいる方法(具体的な実践例)も教えていただき、早くそれを試してみたいと思いました。

K.I.さん(30代男性):孔明さんにとっては当然のことかもしれませんが、過去の出来事についてことごとく言い当てられるので本当に驚きました。また、自分の中で漠然としていた悩みに関してもバシッと言語化してくださり、更に将来の可能性についても具体的に示していただいて、過去から未来まで完全に線で繋がりました！ちょうど今後の仕事の方向性の話をしているときにホテルスタッフの方が部屋の呼び鈴を鳴らしたのですが、その回数も風水的？に意味があったようで鑑定の凄さに震えました・・



M.A.さん(女性):孔明さんによる「門鑑定」それだけに留まらず その人の命式によっていろんなことが分かってしまうよう。私の過去のことを知っているかのように 結婚した月まで言い当てられてしまいました(@_@)そのことによって私が「良い〇〇になれる」命運を持つと言うことに繋がってしまうのかしら♪そして、人生の谷というか闇の時期も言い当てられてしまったのです^_^;「今後、〇〇年と〇〇年、自分が高まり過ぎないように」とのアドバイスもいただいたり…仕事だけでなく主人と息子の家族のことも大切にしていきたいと思っている私にとって”主人と息子がどういう門でどのようなことに気を付けておけばいいのか。”この事についても今回、孔明さんからアドバイスをいただけたことは主婦でもあり建築士でもある私にとって今後のビジネス活動をしていく上でも非常に有意義な時間となったことは間違いありません(^)ありがとうございました(^_^)☆



M.Y.さん(女性):孔明さんこのたびは大変お世話になり、本当にありがとうございました！セントレアまでは、U.Y.さんと一緒に行動させて頂き最後まで心強くとても楽しい旅となりました。現在は高速船で自宅へ向かっています。ずっと受けたいと思っていた孔明さんの鑑定。申し込みをして参加をさせて頂いたものの、これほどまでに贅沢な機会だとは想像も出来ませんでした。心より感謝致します。そして、一緒に参加した仲間の皆さまのおかげさまでとても濃い気づきの多い旅となりました。心より感謝致します。皆さまと一緒にだったから得られたものが非常に多かったと感じています。おぼろげながらもこれからの私のブランディングに道筋が見えてまいりました。そして、今回の旅に来られたのは母のおかげです。3日間頑張ってくれた娘にも感謝したいと思います。今後とも引き続きご指導を頂けますようお願い申し上げます！！

N.N.さん(男性):孔明さん、この度は大変お世話になりまして、有難うございました！先ほど〇〇に到着し、自宅への帰路についております。献身的な鑑定をいただけて、このチャンスに参加できたこと、心から感謝いたします。今回得たことが、将来振り返った時に実を結んだといえるよう、これからの日々さらにコツコツ邁進していきたいと思えます。孔明さんの鑑定のみならず超エンタテイナーぶりにも、改めて感銘を受け楽しい時間となりました。今後とも引き続き、ご指導のほどよろしく願いいたします！

H.H.さん(男性):孔明さんこんばんは、H.H.です。ようやく帰り着いて一息つきました。門鑑定では自分の成幸・財運と、今の相手との相性も見ていただき、1つの方向性が見えました。まさか理系の自分が文豪の兆しを持っているとは。。。少しでも早く活用できるように、環境を整えていきたいと思えます。一緒に参加していただいた皆さんのおかげで非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございます。

U.Y.さん(男性):孔明さん、こんばんは。U.Y.です。先程、我が家の〇〇〇〇〇に戻りました。今回は、門鑑定を長きに渡り、本当にありがとうございました。最幸にツイています！命運に沿って財を成すための中期設定が明確になりとても嬉しく思います。U.Y.としての情報発信の方向性も輪郭が明確になり、たった一つのエピソードを明確にすることの肝要な部分を認識できました。今回、皆さんと一緒に参加させて頂けた運と縁に感謝します。ありがとうございました。自分のしまっていると信じて疑わなかった脇が空き過ぎであったり、4割の法則があることなど様々なポイントを孔明さんにご指摘を受け、第三者からの認識と自分の認識にギャップがあった部分と、「こうだったんだ！」と目からウロコがボトボト落ちる気づきが数え切れない程あり、とっても楽しかったです。「長期的な目標で、〇〇会長になれるようになりたくりました。」「時間にゆとりがある自分になりたいです」これからも宜しくお願い致します。



N.I.さん(女性):自分がスピリチュアルなことに進んでもいいのだと少しほっとした気持ちがありました。○や○○を掘り下げて、もう少し深い心理の部分を追いたいと思います。そのご縁で○神さまに呼ばれたのかとも思いました。また、なぜ○月に体調を崩したり、いい縁に恵まれなかったりするのかわかるといって悩みだったことが、どうしてそうなのかわかるとどう防いでいくのかということについてハッキリわかったことはかなりの収穫だと思います。食改善については砂糖を抜き、今まで学んだことも含めて気をつけていこうと思います。まずはスピリチュアルを掘り下げていきます。大きいことはせずにチビチビと自分のできることを丁寧に続け、○○の○○にそう話をスペシャリストとして書いていきたいです。また、体調管理に努め、○月を穏やかに(仕事せずに)過ごしたいです。○○○
○神社にも会いに出かけようと思います。

E.T.さん(女性):おかげさまで方向が見えてきて、自分で自覚をし、自分を出して行く事も出来るようになる気がしてきました。これからの方向性が見えてきて、何をしたら良くて何をしなくて良くて、漠然とした「何とかなるさ、大丈夫」という思いに確信が持てました。家族の関係も、自分の命運も明かされた中で、安心と覚悟を持って生きることへの道標ベのような感じを受けました。どのような人生を望むかで、事象は変化しても、持つ命運は同じだということも感じました。気になっていたことや、知りたかったことをお聞き出来て、これからの指針とすることで、さらに拓けていくことができます。ありがとうございました。全ては「表と裏」「陰と陽」「無為自然」ですね。この体験は、体験しなければ感じることができなかった、身体と心に滲みる体験でした。これからは安心した気持ちで、心落ち着けて過ごすことができます。アドバイスいただいたことを一つずつ進めて行きながら、人は誰もが唯一無二の存在、私には私にしか出来ないことがある、その思いを形にしていきたいです。家族のことや親子関係にも私の気持ちの変化は良い影響を及ぼすと思います。自分も他の人に、出会えてよかったと感じられるような、影響を与えることができる生き方をしていきたいです。ありがとうございました。

S.N.さん(男性):おかげさまで人生の節目にすることができました。思い残すことなく、魑魅魍魎(ち

みもうりょう)のうごめく〇界へ軽やかにチャレンジしてみたいと思います。引き続きよろしくお願ひします。m()m3年前も運命調整のために鑑定を受けて、今回2度目となりましたが、いつも大きな飛躍につながる指針をいただけます。今回も3年前と同じで、未知の世界に挑戦するというタイミングで、進む方向に対して確信が持てなかったのですが、鑑定していただいた結果、「命運どおりの方向性に正しく進んでいる」ということが分かり、視界がどんどんクリアに開けていった感覚です。前進する力が湧いてきました。今までやってきたこととの整合性の取り方についても具体的にアドバイスいただき、疑問点がクリアになりました。家族のことについても、娘の結婚しそうな時期、育て方についても知ることができて、安心感や心の余裕を持って子供と向き合うことができそうです。本当にありがとうございました。新たな分野でも自分を信じて、前進していけると思ひます。自分自身が最大限の能力を発揮することで、周囲の人、これからであう人たちに良い影響を与えていきたいと思ひます。

R.M.さん(男性)無事に東京の自宅へ帰りつきました！！素晴らしい体験をありがとうございました！夢のような時間でした！目の前にしてたくさん吸収しようと五感フル回転させましたが、緊張してあまり表現出来ず、、、挙動言動がおかしかったですよね。笑

Y.K.さん(男性):学びと気付き、変な縛りの解放が得られました。口癖の「〇〇〇」などネガティブワードの言い換えから始めます、そしてあのラグジュアリーホテルの空間と場の雰囲気、好きな曇り空と蒸し暑く無い適度な気象、北角ノースポイントから通学しましたがそれはそれで20年ぶりの海外で楽しめました。結構日本人が居ると日本商品も食べ物含め平行して置かれているので苦労しません。香港は気軽に掛ける場所になりました。



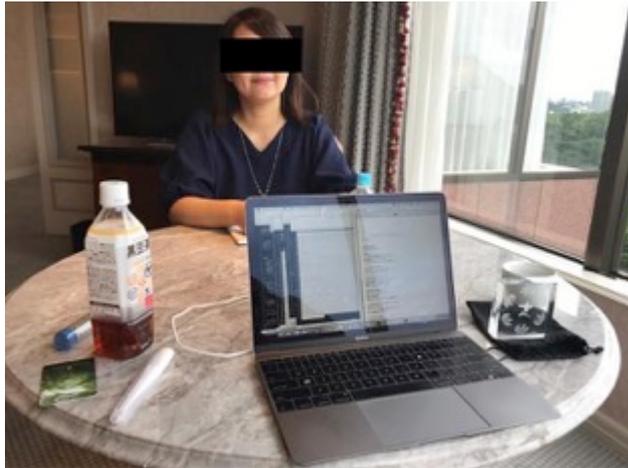
Y.T.さん(男性):門には前から興味がありました。鑑定を自分で3回して〇〇門だったのですが、孔明さんが〇〇門のお話をされ…ん、自分？驚きでしたが何も自分が言っていないのに当たる事ばかり。門を活かす事が出来れば今の自分が変われそうな1番の近道に感じました。嫁に〇〇〇〇〇〇

と言われた事で自信を失い、自分を出さないと事で空回りがあり、抜け出せない自分に自信を持つ事を聞き、吹っ切れました。鑑定を受けて良かったです。家族間のやりとりも、こうしたほうが良いと言われた事も実践していきます。今日電話で一番上の娘に持っているものを褒めたら喜んでいました。話もあまりしていなかったら返事が返って来た事が嬉しくてたまりません。もっと門を活かしていけるよう行動しています。ありがとうございました。

J.K.さん(女性):過去の事について、事が起こった年齢をピタリと当てられて、命運に現れていたのだと心底納得しました。と言うことは、未来に向けては命運の波に逆らわずにおっしゃって頂いた事を実行すれば道が開けると感じました。命運は決まっているのかもしれないけれど、自分の動き方次第で、良くも悪くもなるように選べる事だとも思いました。運命に身を任せる受身ではなくて、知ってしまったからには必ず活かしたいとも思いました。鑑定を受けたばかりの時は、のめり込んでいた分、ショックが大きかったです。冷静になってみると、もう悩まないで前に進めるのだと気持ちを切り替えられたのでよかったです。良い方になるようなアドバイスを実行するだけ、何も悩んだりためらったりする必要なんてないのだと、とてもスッキリしました。香港にて鑑定を受けた事、その結果を受け止めた事が人生の転換点になると、思います。鑑定結果から導き出されたことを実行します。イメージができたので焦らずに慎重に行動しようと思います。

T.Y.さん(女性):なるべくしてなっていること、という事が分かり、心が落ち着きました。こんなこと聞いて、変に思われなかな?って一度も思わなかったもので、本当に良かったです。思い出すと、ヒマだから考えてしまうつまらない事の入る余地がありません。いつも思い出します。

A.K.さん(女性):まず、気持ち的にスッキリしました。不思議なのですが、自分にはある程度の傾向があると最近ようやく気付いたことがあり、それについて、鑑定を受けて確信を得た感じでした。例えば、お金について自分が生まれながらに恵まれている且つ、投資などで稼ごうとしていたのは向いていないと、最近うっすら気付いていました。それが鑑定で一致し、確信と安心感を得られました。お金にはとても不安になった時期があったので、持っているもの活かそうとあらためて思いました。また、違う門同士が今回揃っており、同じ門同士が同じような行動をしてきたことやそれぞれが特徴がある場面を見たことで門の特徴を理解するのにとても良かったと思います。門が単なる曖昧な占いでなくて、統計・傾向のものであることに気づかされました。鑑定の解説も、孔明さんだから理解できたこともあり、聞いて良かったと思います。とても楽しい時間で、時間が足りない!もっと話を聞きたいと思いました。かなり赤裸々にいろいろなことを話せて、すごく心地よい時間でした。このご縁も大切にしていきたいと思えますし、やってあげることで自分ができることも気づきました。今後は、鑑定にて出た強みを強化し、不要なものを排除することで自分の持っているエネルギーを効率的に使いたいです。



S.M.さん(女性):孔明さんの門鑑定は噂どおり、よく当たってます。私の場合、結婚した年、自分の脳が書き換わったセミナーの参加した年・月がばっちり当たってました！悩みであった人生の方向性の的確なアドバイスもいただけ、まさにスッキリしましたし、これから人生を歩むための、ぶれない心の軸を見つけたような気がします。門鑑定を受けなかったら、このことに気がつけなかったり、気がつくのに、もっと時間がかかったりしたと思います。アドバイスをいただいたお蔭で、無駄なことに労力・エネルギーをつかわずに済むとおもいます。孔明さんには、お会いする前は厳しいことを言われるのではとやや心配でしたが、そんなことはなく、気さくな方で色っぽい話も楽しく聞けました。門鑑定で人生の方向性が決まり、ぶれない心の軸が決まり、心が満たされました。進むべき人生の道をしつかりみつめ、笑顔ですすみたいです。セルフイメージがあがり、自分はありのまま、このままでいいんだと思えます。具体的に言語化はうまくできませんが、幸せになるためにこの経験を活用します。

M.T.さん(男性):孔明さんとは、車中で初めてお会いした時から、話されてることは終始一貫しておりましたね。「星2つですよと☆☆」w語り明かしましたが、門鑑定は答え合わせのような物でした。「あーやっぱり。ね、言った通りでしょ！」wwこの流れに乗るか？それとも見送るか?!全ては自分次第。彼女と別れて三年間、いたずらに自分を責め続けてきました。鳥籠の中で、ずっと「後悔」という小鳥を飼っていましたね。鑑定を機会に、囚われ続けてきた過去を手放したいと思います。全ては思い込みですから。これからは、“エロく正しく美しく”軽やかに次のステージに上りたいと思います♪まずは、ビジネスネームの取得。そして、門鑑定認定アドバイザーとして発動。並行して、これまで通りスピリチュアルの深堀り。ゆくゆくは門とスピとを統合したオリジナルのスタイルを構築したいと思います。

S.Y.さん(女性):私自身の進路相談をする予定でしたが、思いがけず、私よりも夫が注意すべき点があるということで夫の話が多くなりました。夫の体調不良も、兆しに出ていたようで不調の箇所もびったりでしたし、本当に不思議です。必要なお守りを教えていただいたので、早速準備しています。私は「何かしないと！」と前のめりになっていたようで、むしろゆったり構えていて良いのだと知り、のんびりと、直感に従って過ごすようにしたいと思います。そして、噂の「年当て」は当たるのか！？とても楽しみにしておりました。大筋当たっていましたので、将来についても、きっと当たるだろうと未来

にワクワクしています。目先のことに囚われがちですが、孔明さんのアドバイスをもとに、もっと長期的な視点で活動して楽しい未来を手に入れたいと思います！家族の大切さも実感しましたので、より家族愛が深まるよう心がけていきます。良い機会を、ありがとうございました。

N.T.さん(女性):昨年7月に門を知り、鑑定を受けました。わたしの門は「月官門」で、意識することで仕事では評価、収入が少しあがりました。これからは月官門以外のわたしが持っている門も活用していきたい、仕事以外でも活かしていきたいと思っています。「わたしはもっといけるはずだ」という思いがある反面、自分の気持ち、身体、行動、現実がついてきていません。自分の門を活用してもっといける方法を身につけたいです。わたしは現在婚活中です。真田さんのメルマガで男女関係のことを書いておられたのを読んで、わたしへのアドバイスを頂きたいと思いました。以上のような動機で参加を決めました。「〇〇年にはこういうことはありませんでしたか？」と質問して頂いたことがほとんど当てはまっていた驚きました。自分がやってきたことが大いなる流れに乗っていたことがわかり、これから先の未来も信じられると感じました。男女関係についてもメルマガを読んだだけではわからないことをたくさん教えて頂きました。理想の相手に出会うには「数」ということ、学生時代の例え話で納得でした。半信半疑な部分もあったのですが、その後それを裏付けするような他の方のお話が次々と出て、新しい世界があることを、知りました。鑑定をして頂いたあとでは、それまでと目指す方向が全く変わりました。直接お話できたからこそ、得られたものがあり、自分や世間一般の常識とは間逆なこともたくさんありました。そしてお話以外の目に見えないものも色々体感できたと感じています。今までわたしがいいと思っていた「前のめり」は、実はそうではなかったようで物事や人への接し方がこれから変わっていくと思います。体験を種にして、望む現実を咲かせていきます。

S.E.さん(女性):孔明さんの鑑定を、前々から受けたいと思っていました。本当の自分を知り、これからの人生を生きやすくする為に、ずっと参加したかったのですが、ちょうど、そのタイミングが訪れたようで、今回しかチャンスはない！と思い、申し込みました。人生の目的を知りたい。自分をどう活かせば良いのか知りたい。パートナーと出会いたい(今好きな人はどうなのか?)。これらをまとめて知ることができる最高のチャンスだと思ったから。趣味の活動で、リーダーシップを必要とされるポジションに位置しなければいけない場合、私の門では、どのように行っていけば良いのか、など、上手な自分の取り扱い方を知りたいです。以前に門認定アドバイザーの方のSkype鑑定を受け、自分が月財門だという事は知ってたのですが、知っているという状態で止まっていた。今回の鑑定では、孔明さんから直接お話をうかがう事ができ、月財門の力をどう活用していけば良いかを含め、しっかりと理解することができました。これまで蓄えてきた知識を、今後どのような形で発信していけば良いかについても、具体的にじっくりと教えていただきました。おかげで、ずっと立ち止まっていた状態から先へ進めそうです。十年単位での今後の財の流れも見えてきて、その流れが来年から始まるとの事。今回は本当に、行くべくして行ったタイミングだったのだと思います。また、月財門の恋愛の欠点(陥りやすいパターン)も教えていただいたので、気をつけます。今回の鑑定で孔明さんから教えていた

だいた情報、まずは恋愛、そしてライフワーク。この順番で進めていきます。今回のセッションに参加すべく参加したように、これからの流れも命運の通り流れるべく流れていくと信じて、まずは今の状態から飛躍したいです。そして、自分がレベルアップ出来たと感じた時には、また参加したいです。



H.A.さん(女性):真田孔明さん、とても内容が濃いお時間をありがとうございます。真田孔明さんの鑑定を受けたいと思ったきっかけは、エデンの園の講座に参加した時に、講座の内容も目からウロコ!!そして、真田孔明さんの鑑定で恋愛も仕事も、人生 180 度好転するとお聞きこれは是非参加したいと申し込みました。鑑定では、このところ仕事も家事も子育ても、ずっとやる気がなく、結構、いろんなセラピーを受け自分自身も内観して随分クリアになって来たとはいえ、やる気のなさは、変わりませんでした。それを真田孔明さんは、神懸かりに最初の 1 分で、問題を解決されてしまいました。びっくりです。あとは実行あるのみ。実行後、どう変化するのかとても楽しみです。鑑定中は、神降ろしをされているかのような空気感、お顔が不動明王のように開眼されているのです。笑いもたくさんあるのですが…私は、敏感な体質で、いいも悪いも人の影響を受けやすいのですが、鑑定では、私は影響を全く受けない体質なんだそうで、これは一例ですが、他にも自分のよい資質を教えてくださいました。自分が自分で感じている認識と鑑定での私の資質が違って、その認識を変えることで人生が大転換する程のパワーがあることを教えてくださいました。真田孔明さんは、太っ腹、懐が大きく過ぎます。それから、鑑定中ずっと、脳のリミッター解除が作動!脳みそがどんどん溶けていって今まで、ガチガチの緊張一杯の人生にさよなら~残りの人生エンジョイ、自分を幸せにしようと思えました。シングルマザーでも、真田孔明さんの手にかかれば仕事も恋愛も子育ても好転できる、手解きサポートして頂けるんだ。あとは、自分自身が実行するかしないか! 光がみえてきました。これからの人生、どこからどう手をつけていいのか、わからなかったところ丁寧にサポートして頂けたことで、一つずつ、前に進んでいけそうです。本当にありがとうございます。

Y.I.さん(男性):ほかの方のご感想にもありますが、「〇歳と〇歳のときに△△△がありませんでしたか?」というドンピシャの指摘、本当に驚きました。そして自分が知らなかった、自分のもつ可能性、向いていることをずばり教えていただけました。何より、その孔明さんの鑑定を受けてブレイクした方がすでにたくさんいらっしゃるという事実!これから、自身の運命を変えるのは自分自身の努力が必要ですが、進むべき方向性を指し示していただけたので、あとはそちらに向けて進むだけ!ですね。私

は自分のビジネスを今後成長、発展させることを目的に参加いたしました。ですので、孔明さんに指示していただいた方向性に向けて前進していきたいと思っております!ありがとうございました。

S.I.さん(女性):孔明さんと初めてお会いしましたがとても気さくな方でお話しやすかったです。「陽立門」としてわたしは生きられるのだろうかと全然実感がなく不安な部分もありましたが、まだ上手く発動できていないだけだとわかりました。教えていただいたことを実践し、発動していけるようにやってみます!今まで恋愛は二の次でしたが、仕事よりも恋愛の方にシフトしてビジネスも上手いことつながれたらいいなと思えるようになりました。とても刺激を受けました。ありがとうございました。

T.M.さん(男性):自分の資質を認識して長所も短所も受け止めると、ものすごく気が楽になりました。過去当てや年事の動きで、自分の意識で動いてきたはずなのに、何故か囚われ通りに動いているのは驚きでした。自分に起こる全ての事が偶然であり必然で、ただ淡々と自然体でありのまま毎日を過ごしていけば良いのだとわかりました鑑定で自然体で毎日を淡々と過ごしていけばいいとわかったので、物凄く気持ちに余裕ができました。これからは、自分をもっと知り楽しく過ごす為、恋愛、ビジネスに繋げていく為にも情報発信へと活用していきたいと思っております。

N.S.さん(女性):孔明さんのご鑑定&わかりやすい例え話やご経験談を伺う中、長年に渡り「どうして?」「何故?」と感じていた疑問が 続々と解けて、心がとても軽やかになりました。(もっと早く知りたかった!この一言に尽きます…)自らが持って生まれた資質(命運)を知ることで、現実世界においても、大きな変化が起こることを実感中です。20 年来の夢の実現に向けて、門発動パワーを活かしながら、じっくり歩みを進めて参ります。今年に入って自分の門を知って以来、夢の実現に繋がる大きな変化があったのですが、今回のさらに詳細なご鑑定のおかげで、背中を優しく押して頂いたような心強さを感じています。「遠き未来は望遠鏡で眺め、日々は顕微鏡の如く丁寧に見つめる」頂きましたアドバイスを胸に、自分らしくのびやかに過ごしていきたいと思っております。この度は本当にありがとうございました。



O.Y.さん(女性):単に「当たる」という次元ではありません。「なぜ、ご存知なのですか?」というのが正直な感想です。いままで点で存在していた疑問や問題が、すべてつながったような体験でした。

自分に合った神社やお寺を教えていただいたことで、やみくもにパワースポットめぐりや神社めぐりをする必要がなくなり行動がシンプルになると思いました。録音した会話を聞き返すと、自分がいかに、だらだらと着地点のない会話をしていたかと思うと恥ずかしいです。「〇〇だけに〇〇〇」を会得したいと思います。

Y.K.さん(男性):門鑑定は以前に受けていて、生まれながらの囚われは理解していたので、主に四柱推命をもとにした命運についての鑑定についてお話いただきました。過去の命運はほぼ当てられ、これからの命運についての展望について、ポイントを絞ってお話いただきました。余計な情報を入れない分、大事なところに意識が向いて、シンプルに腹落ちできました。様々な話題でお話を伺う中に今後の取り組みヒントとなる言葉もあり、非常に有意義でした。孔明さんの鑑定をもとに自分自身について理解を深めることができ、あとは自らを言語化するだけだなどと思っています。これからは自分の物語を適切に表現できるよう、コツコツと取り組んでいきたいと思っています。

S.N.さん(女性):楽しかったです！たくさん話を聞いて下さり、すごく満足しました。鑑定は、これがほんとに私の結果！？と思えるような、素晴らしいことを言ってもらえて、でも不思議と受け入れられて、この先の人生も安心していいし、楽しんでいこう！と思いました。〇〇門でしたが、これからの10年は組織に入っているほうがいいのか、30年先の流れまで聞くことができ良かったです。鑑定を受けたあと、鏡で自分の顔を見たら目の奥の光が違っている気がして何か変化してると感じました。限りある人生を、余すところなく楽しんでいきたいです！〇〇〇〇〇〇読んだり、まずは自分の門や星？を落とし込んでみますね。あと写真の顔だしもしていくことにします。

N.H.さん(男性):実は、門鑑定を受ける前、すごく怖かったです。自分の未来を知りたいと思う反面、どのような未来が待っているのか？勢いで申込をしたものの、本当に怖かったです。しかし、門鑑定を受けて、過去に起こった出来事は全て当たっており、ビックリしたと同時に、自分には明るい未来が待っていることがわかり、生きていく希望が出てきました。人生目標を見失っていて、ただ生きているだけの状態に陥っていたのですが、今後どのように生きていけば良いのかがわかったので、今回、門鑑定を受けて本当に良かったと思います。孔明さん、本当にありがとうございました。今回、門鑑定により、どのように振る舞い、生きていけば良いかという戦略を授かり、笑顔という武器も授かりました。そして、私の場合は自慢話をするのではなく、〇〇〇〇〇〇話をした方が人を惹き付けられる(受け入れられる)ことがわかりました。今回の体験を活かして、実社会でもいつも笑顔で情けない話をして、人徳を磨いていきたいと思っています。今後、周りの人たちの反応や、自分の人生が楽しみになりました。

真田孔明が明かす「時空方程式」

真田孔明による鑑定やアドバイスがご自身にとって合うかどうか？その判断材料の一つとして、孔明が論じる「時空方程式」に予め目を通して頂きたい。

○幸せの絶対数は決まってる「ゼロサムゲーム」

よく、お金の世界は「ゼロサムゲーム」と言うけれど、実はそれは「発動」の世界も同じで、完全なる「ゼロサムゲーム」である。

「幸せの絶対数が決まっている」とも言い換えられる。誰かが先に「発動」して、相対的に優位なポジションを先に取れば、それだけ人と金・・・「財運」は巡り安くなる。

「発動」した他の誰かの後で、真似をして「発動」しようとしても、それは「猿真似」としかとらわれなくなり、「発動」が困難である。

たとえば、サングラスの似合う「タモリ」が「笑っていいとも」を引退したからと言って、あなたが髪の毛を七三にわけて、サングラスをかけた芸風で、芸能界デビューしようとしたところで、見た人全員が「猿真似」としか思わないというのは、容易に想像できるのではないだろうか？

タモリと同じ芸風では、「笑っていいとも」のナビゲーターの席を 取ることはできないのである。モノマネしている面白い人として、観客席側の席をなんとか確保できるのが精一杯。

こうしている間にも、自分以外の誰かが、次から次へと有利なポジションを獲得し、「発動」している。

「財運」を発動させる前に、知っておかなければならないことがある。

「財運」が発動できるポジションは、実は「無限」では無く「有限」であるということ。劇団「宇宙」からブレイクダウンされる形で、「配役」が決まっているから。

命運は素材にも例えられる人間そのものというよりも、予め発生することが決まっている「配役」が大きな影響を与える。

「配役」が、相対的に良いポジションであればあるほど、座れる椅子の数は限られている。

良い「配役」は掴みとることが難しい。早い者勝ちで取り合いだ。優位なポジションであることが分かれば、本来人は誰でも良い「配役」を欲しがるので、当然といえば当然と言えよう。

先に良いポジションの椅子に座りたければ、一刻も早く行動を起こす必要がある。遅く行動すればするほど、残っている椅子の中から、半ば強制的な割り振りという形なのは、当然とも言えよう。

こういう残酷な一面を持つ現実を知り、そのなかでどう自分が相対的に良いポジションにある「配役」を掴みとることが、「財運」の発動に直結するのである。

別人のように変わるとは？同じ、命運の下においても、風水が変わっただけで、自分自身の中にある魂も以前とはまったく別人のように変わる。

しかし、「別人のように変わる」・・・と言われても、おとなになってから、変化を感じることでできる日常が続く中、いまさらまったくイメージできないかと思う。

そこで、激変ぶりのイメージができるように、例を挙げてみると・・・。中学3年間、高校3年間、大学4年間、あの頃部活とかサークルで体感したような急激な変化を体感できるということ。

たとえば、部活の一年生時代は怖い先輩に怯えおとなしくしていた者が、部活の3年生になって、幹部に選出されたり、レギュラーとして活躍したりして、自信みなぎる雰囲気になり、全く別人になるかの如く。

プレーの最中に、ファインプレー続出したり。後輩たちに対して、熱くなるような励ましの言葉を発したり、気の利いた言葉をかけてあげたり、たったの3、4年間で、同じ人間とは思えない程、別人のようになる。

自分自身でも体感したと思うが、たとえば部活やサークルのOBとして、ひさしぶりに部活を見に行くと、「あの時のまだ幼く見えた1年生の〇〇くんが、オトコとして、まるで別人のように活躍している！」・・・というのは、部活やサークルに属していたことがある者なら、誰でもよくよく体感したことだと思う。

そういう時は、コチラ側も、一年生だったあの頃とは違う対応の仕方になってしまうはずだ。

確かに、自分自身は命運の下に同じ人間である。しかし、風水が変わると大きく変わる。

自分の立ち位置や雰囲気が大きく変わっただけで、自分に対する周りの反応も大きく変わってくる。

周りも、部活の一年生としてではなく、部活の三年生の幹部として、扱ってくるようになる。

「命運の門鑑定」によって、風水を変えると。人間として、相対的に強く、魅力あふれはじめる。すると大人になった今でも、あの頃体感した急激な変化。再び体感できるようになるのだ。風水を変えると、ご自身にどういうことが起こるのか……。

部活の三年生になり、レギュラーとして活躍すると、慕ってくれる後輩が増えたり、自分の学校だけでなく他の学校のライバルだった人たちの、仲間たちが急に増えだすかの如く。仲間や友だちが増える。ビジネス……ということがまだ明確に固まっていなかったとしても、「何か一緒にやりたい！」とってくれる、仲間たちが一人、また一人と増えてくる。

また、ビジネスの方が充実して来ると、プライベートの方も充実して来る。

部活で一年生とかペーパーの頃よりも、部活の三年生でレギュラーとして、活躍している時に、試合後に写真を一緒に撮らせて下さいとか言われたり、電車に乗るお手紙をもらったり、なぜか次から次へと異性からのアプローチの機会も増えるかの如く。

独身で彼氏・彼女がいない方であれば、ビジネス面だけでなく、異性のパートナー候補からの接触も増えてくる。

中学3年間、高校3年間、大学4年間、部活やサークルの中で、あの時3、4年間で体感したような、大激変ぶり。

あの頃よりも更に、刺激的に上まる変化を、たったの数ヶ月間、いや、数週間や数日で、再び体感してしまうことができるということ。

「命運の門鑑定」によって、風水を大きく変えることで起こる変化である。中学・高校・大学時代の思ひ出はすでに遠い過去のもの……もはや記憶の片隅に、ようやく残ってる位なので、実際に体感してみないと、あまりピンと来ないというのが正直なところだと思うが、あの時……中学、高校、大学の3年間、4年間に部活やサークルで体感した変化具合を思い出してもらえれば、よく理解できると思う。

多くの人たちは、自分の中に眠る魅力や可能性を見失っている。知らない。生まれながらの囚われや、アビリティ、宿命を知らない。どういう環境で、何をすると自分の魂が光り輝くのかを知らない。

だから、「命運の門鑑定」によって調整してあげるだけで。あの頃・・・中学、高校、大学の 3、4 年で体感した、激変ぶりを再び・・・今度は社会というアンリミテッドなフィールドで、もっと大きく、もっと短期間に、しかも永続的に続く形で、体感できてしまうのだ。

○「年当て」門(ゲート)の向こう側の世界

孔明の門鑑定は、中国広東省ナンバー1 占術師、おコメさんとお会いした後に、発動した力。門(ゲート)の向こう側の世界も、活用して行っている。密室で対一という形ではなく、複数人の前での公開型でも OK だし、iPhone などで収録を回していてもよい。つまり、当たったことも、外れたことも、みんなが分かる状態で鑑定行っている。

澳門で開催された鑑定会でも、過去の印象に残るライフイベントも、年単位で的中させて行った。

S さん

- ・〇〇〇〇年にモテまくりましたか？→当たり
- ・〇〇〇〇年に〇〇しましたか？→当たり

O さん

- ・〇〇〇〇年に結婚しましたか？→当たり
- ・〇〇〇〇年に会社を辞めて独立起業したのですか？→当たり

K さん

- ・〇〇〇〇年の方とは、なぜ〇〇しなかったのですか？→当たり
- ・〇〇年に〇〇したのですか？→当たり

3 人ともに、人生の中でも特に記憶に残るレベルのライフイベントを、年単位で的中させて行くことに成功した。なぜ「年当て」を最初にやるのか？

それは、「命運のシナリオ」に基づいた鑑定で、過去が当たるのなら、みらいも当たるということ。逆に言えば、過去の印象に残る大きなイベントを年単位で当てられなければ、みらいは当てられないはずと仮定。

孔明のみらいに向けたアドバイスの精度や信ぴょう性というものに影響するのではないか？だから孔明は常に、鑑定の前に過去のライフイベントの「年当て」をやって行くのだ。

なぜ孔明がこのようなことをできるのか？この方法はどこかの書物に書いてあるわけでもなく、孔明に誰か師匠がいて教わっているわけでもない。おコメさんを参考にしているが、直接やり方を教わったわけではない。幽霊が見えるとか、霊界や死後の世界が見えるとか、そういうインチキ臭いものではない。

孔明に、生まれながらにして特殊な能力があるわけでもない。そんな孔明が、事前情報もまともに無い、はじめてお会いした方々の、「ライフイベント」人生の重要なイベントを当てられる理由。その理由は……

孔明が、時空の一部になる原理原則を理解できたから。孔明が鑑定を受ける相手にとって、時空の中での〇〇〇〇になる。だから、孔明が過去を当てられる。そして過去の延長にある未来を推測できるヒミツを、正確に表現するのならば、「孔明が当てているのではなく、孔明が時空によって当てさせられているのだ。」

おコメさんとお会いしたことによって、門(ゲート)の向こう側の世界の原理原則、方程式のようなものを、理解できてしまったのである。

門(ゲート)の向こう側の世界を理解して以来、「なぜだか分からないけれど、孔明は人の過去のライフイベントを年単位で当てられるようになり未来を推測できるようになった。」……という感じである。

孔明が当てているのではなく、「時空」に当てさせられている。孔明は月財門ということもあり、生まれながらの命式も手伝い、それが比較的ナチュラルにできる体質なのだと思う。つまり、いくつかの条件が整えば、孔明は時空のお力をそのまま使って、当てることができちゃうわけだ。

孔明が時空の一部になり、右から左に、バンバン当てながら、未来のビジネス、プライベートの活動に関する具体的な設計図を共に構築していくわけである。

○「時空を制する」とは？

〇さん:「実に2年ぶりです。2年前の孔明さんの鑑定以来人生が激変しました。」

孔明:「ひと目見て分かりましたよ！全く別人のようになってますね！もう魂は別人なのでしょうね。内から気が溢れでて来ています。」

孔明:「ひょっとしてかなり儲けられているのではないですか？」

〇さん:「ふふふ。お陰さまで(ニヤリ)！」

孔明:「うわー。悪い笑顔ですね(笑)。月立門が発動しまくってますね！」

2年前……。目はどこか落ち着きが無く、気迫というものが全く感じられず、弱り切った状態で、孔明の鑑定に来られたOさんが、「命運の門鑑定」に参加という形で、再び孔明の前に姿を表した。

目の前には、目がギョロリと力を持ち、「王」が持つ特有の気迫を醸し出しはじめている。2年間の時を経て、全く別人のようになられて、孔明の目の前に降臨された。

お仕事のことを聴くと、発動した「月立門」がうまく行っている時特有の悪い目をしてニヤニヤされているので相当調子が良く儲けられているようだ。

ご本人的には、

Oさん:「まだ創門にふっていた方が良いですかね？」……と遠慮気味にお話されていたが、

孔明:「内側では月立門で、時空から奪い取りまくりましょう！」という結論に至った。「月立門」が発動しまくり状態である。

ちなみに孔明は、帝王学である「門学」を使って、世界中の人々を救おうとしているのではなく、限りある孔明の人生の中で、偶然か？必然か？孔明の時空の中で巡り合うことができた、方々のみに「時空を制する」術を与えている。

「時空を制する」とは？

時空の中の良いポジションには限りがあり、本来誰でもそれを知っていれば、獲得したいという良いポジションほど、普通にやっていたら獲得するのが難しい。

時空の中の良いポジションには、壮絶な取り合いが発生しているからだ。

たとえば、金融資本主義の世の中で、「金(カネ)も異性も両方欲しい」という場合は、普通にやっていたらまず無理。

そんな中で、ゲームで言う「チート」にも値する「門学」で、時空の中でのご本人の裏コードを読み解き。さらには、「門学」の真骨頂でもある、最小限の時間と労力で、ご本人にとって、最高のポジションを獲得してもらうべく、「門鑑定」によって導いているのである。

だから、Oさんのように、2年間も、ど真面目にその通りにやってくれると、目に見える形で「発動」し、その成果が「金(カネ)と異性」という形で出てくる。

時空の中で、多くの他人を差し置いて、より良いポジションを獲得。

「月立門」特有の強制力も発動しながら、昔漫画にあった『黄龍の耳』の如く「金(カネ)と異性の両方を獲得できる」モードに突入して行くわけだ。

今回まさにその「発動」が、さらに本格化しようとするタイミングで、「命運の門鑑定」に参加されている。つまり「時空」に祝福される立場になって来たとも言える。

案の定、Oさんの過去の「ライフイベント」が、鑑定中に「〇〇〇〇年に・・・〇〇」「〇〇〇〇年に・・・〇〇」年単位でビシバシよく当たる。

過去が当たるのなら、これから先のみらいも、Oさんにとって都合のよい形で、そのとおりになるのだろう。Oさんの「月立門」の本格的な「発動」が、時空の中で約束されていることを意味。

「良いポジションニングを一度でも掴んだら離すな！」・・・本来重要であるが、難しいことが、高い確率で自動化できてしまう。その後は、自動的に「発動」し続けるモードに突入してしまうのである。

「時空を制す」ことに成功した者たちは、良くも悪くも時空から守られてしまう。

以前も孔明が実際に目撃してしまったのだが、孔明ではなく、孔明の仲間をガチで裏切った方が、その数週間後に旅行中のアクティビティのアクシデントでお亡くなりになった。

孔明の仲間がパートナーとして、一からビジネスを立ち上げて、一緒にビジネスをしていたのだが、ビジネスが軌道に乗った瞬間に、相手が・・・「これは私のノウハウなのに、利益シェアとかは納得行きません。これから後は自分でやるので、さようなら！」・・・と、一方的に裏切る形で、パートナーを破棄して来た。しかしこの場合、不幸なのは相手の方だった。

当然ながら、相手には相手なりの正義や言い分のようなものがあつたのであろうが。時空の中では、正義は「時空を制した」者の方にある。

孔明の仲間は、2010年頃から着々と準備をはじめて、既に「時空を制する」形で発動している方。時空の中での正義は、孔明の仲間の方にあつたと、時空が決めたようだ。

裏切っただけで、結果的に奪い取った(利益シェアをやめて独り占めした)お金で、旅に出てアクティビティを行った先で事故。若くしてお亡くなりになってしまった。

時空がなぜそういう結論を出したのか？よくわからないが、結果的にそうってしまった。望まなかった結末、しかし、なぜかこのような結末に・・・。

金融資本主義の中で、お金持ちはますます強くなり、さらにお金が舞い込むようになるのと同じように、「時空」は平等ではない。

「時空を制した」強い者は、その魂が存在する限り、さらに「時空を制す」べく自分にとって好都合に働く。

「時空を制した」者どうしならば、どちらに転ぶか分からない、ある種の均衡のようなものも発生する。

しかし、「時空を制していない」、「時空」での弱い者が、「時空を制した」者に、半目を打つ形で、裏切ったり、陥れようしたり、仲間のケースのように、無理やりパートナー解除をしようしたり、してしまうと・・・。

なぜだかはよくわからないが、不幸な兆しが多発はじめる。

具体的に言うと、使っている大切な物が壊れたり、乗っている車が故障しはじめたり、事故にあったり、病気になったり、怪我をしたり、身内の不幸に直面したり、不幸なことがたて続けにおこる。

・・・「時空」が警告を与えてくれているのか？

恐らくこの時点では、その方にとっての「時空」やご先祖様のような存在が、守ってくれるような、「兆(きざし)」なのかもしれない。

しかし、そういう「兆」を無視し続けて突き進んでくると、破財、逮捕、、、と発生する不幸イベントのレベルが高くなる。

それですれば良くて、今回の仲間のケースのように、突然の「死」という最悪のケースを迎えてしまう恐れもある。

なぜそういうことになるのか？

孔明にはよく分からないが、「時空を制した」強い者を、裏切ったり、攻撃を加えようとする、良くも悪くも、望もうが望むまいが、こういうことが高い確率で発生してしまうのだ。

今回の O さんも・・・ビジネスパートナーをみて欲しいと言われたので鑑(み)たが、

孔明:「(前略)一人目、O さんご自身に近いタイプですし、特級修門からなにかしかけられると、月立門には見えないので、つかず離れずという形がよいと思いますね。」

孔明:「(前略)二人目、孔明がたてつづけに飛ばして億を失うキッカケになった方と同じ、やんちゃをして飛ばすリーチ目的な、ものを持っています。おとなしい時には良いですが、調子にのって暴走しだすと止まらず、周りも飛びます。調子に乗り始めるまでは勢いはあるので、相手が稼ぎはじめて調子に乗ってきたら、自分はさっと手を引いて逃げるのが良いかと思います。

2016 年、2017 年はお金がかせげるようになるかもしれませんが、そこで調子に乗って言うことをきかなくなってきたら、さっと引く形で。未練残さず金(カネ)残せ！」・・・と鑑定。すると・・・。

O さん:「孔明さん、ありがとうございます！二人とも、まさにその通り！！おっしゃる通りの人柄、性格です！！手がけているビジネスや、その進め方(特に二人目のイケイケ具合など)、ハマり過ぎてて怖いくらいです。。凄い・・・凄すぎます・・・汗 大変貴重なアドバイスありがとうございます m(_ _)m ヤバいくらい明確に自分の身の振り方がイメージできました！本当にありがとうございます！今後ともよろしく願います m(_ _)m」

・・・という形で、結果として孔明の鑑定で、O さんに対して、みらいに起こりうる危険を、告げることができているので、O さんは「月立門」としてまじで、「発動」している。。

つまり、本格的に「月立門」として「時空を制し」始めていることが分かる。

全ては「時空」の原理原則。とうてい、孔明個人の力の及ばないところ。なので実際のところは、孔明にとっても、なぜそうなるのかはよく分からないことが多いのだが。「命運の門鑑定」によって、「時空を制する者」へと、本格的に「発動」することになることは決まっている。

○「命運の鑑定会」は夫婦・恋人同行で参加してもよいかどうか？

次のような問合せを頂戴した。「家族と香港へ行く予定です。家族にはどうしてもらうのが良いでしょうか？同席は難しいでしょうか？」

孔明：「鑑定は基本的に同行NGで。家族がいるとご自身が兆しを出してくれなくなるが多いので！」

「夫婦関係について鑑定したい場合はどうなのでしょう？パートナーにも結果を聞いて欲しいというような場合。」

孔明：「配偶者様もそれを望んでいますかね？その場合はよいですが、夫婦関係向上のため「鑑定」でしょうか？鑑定中への回答しているのは孔明ですが、実際のところ、回答しているのはご自身の時空自体ですからね。」

孔明：「例えば、家の玄関を開けて一歩外に出るその時から・・・鑑定時まで一貫して、本当に両方が夫婦関係を良くする目的で、「命運の門鑑定」に来ていて、鑑定に参加するなら一本道です。この場合は同行頂いて良いと思います。」

孔明：「でも孔明が心配してるのは・・・もしも仮にどちらかが外を向いていて、鑑定が夫婦関係だと最初からベクトルが矛盾した方向になっているので。。このままだと異性がたくさん現れますよ！という強い兆しが出ていて、それが配偶者様の前だったとしたら。分かってても、当たってても、嘘言わなきゃいけなくなります。この場合。。」・・・という問題が露骨に発生することが分かっている。

現にこれまで、配偶者・恋人が同行していたがゆえに、言わなきゃな。。と思うことなのに、配偶者の門や顔色を見ると、「絶対に言えないなコレ。。。」となってしまうことがいくつかある。

しかも、両方が「夫婦関係向上のために！」と真に思ってくれていればいいけれど、どちらかの心の中では、全く別のベクトルを向いていたりすると、、それが露骨に出てしまうから。

孔明の鑑定は当たる。なぜなら、孔明が答えているけれども、実際は孔明が答えていないから。

「時空が答えているから」

鑑定されに来た方ご本人の、時空の兆しをそのまま、右から左に流す形でお伝えするに過ぎないか

ら。・・・ということで自ずと、「命運の門鑑定」に参加する目的が。配偶者・恋人に、自分だけを見続けてほしいから・・・キミだけを見続けていたいから・・・それを両方が本当に思っている場合は、「鑑定」の同行 OK。

しかし、ベクトルが外に向いているのであれば、同行 NG。・・・という形になる。なので、配偶者・恋人を同行させるかさせないかは、真剣によくよく考えて頂くことを推奨。

○通過することが確定したみらいの目標(ゴール)

みらいから現在に、現在に過去に、情報時空上の時間が流れる中で、もしもみらいの目標(ゴール)達成が、当選決定したとしたら・・・。「命運のシナリオ」と門を活用して、鑑定をする孔明、鑑定される参加者。

今回の『命運の門鑑定』においても、同じ物理時空と情報時空が融合した空間の中で、共に体感することができた。

それぞれが抱く目標(ゴール)は、「通過することが確定したみらいの目標(ゴール)」であると。

鑑定の際、孔明はそれぞれが、生まれてから今日までの、過去をほとんど知らない状態。超現実主義の、月財門の鑑定士である孔明の情報時空内には、「あなたのご先祖様が・・・」とか、見えないものが見えるとか、そういう認識は一ミリ足りとも無い。

ゴースト系は、映画『ゴーストバスターズ』とか漫画やアニメとかでしか見たことが無い。見ることも、感じることもできない。

そんな孔明が鑑定士として、鑑定を受ける方々と向き合う形で、過去について探っていく時、孔明が参考にしているのは、古代中国から 1,000 年以上続く、「命運のシナリオ」のボードのみ。・・・にも関わらず、次から次へと過去の記憶に残る大きなイベントが当たる。

Z.M.さん(女性)の鑑定

- ・〇〇〇〇年～10 年間会社勤めされてましたか？(当たり)
- ・旦那さんと巡り合ったのは 2006 年ですか？(当たり)

R.H.さん(男性)の鑑定

- ・会社の中で出世していったのは〇〇〇〇年～〇〇〇〇年でしたか？(当たり)

・会社を転職したのは〇〇〇〇年でしたか？(当たり)

J.I.さん(男性)の鑑定

- ・奥さんと出会ったのは〇〇〇〇年ですか？(当たり)
- ・奥さんの方から来たのですね？(当たり)
- ・会社を退社したのは〇〇〇〇年〇月ですか？(当たり)

M.K.さん(女性)の鑑定

- ・〇〇〇〇年男性から来ましたよね？(当たり)
 - ・〇〇〇〇年の男性は一番好きな方でしたよね？(当たり)
- 結婚することにならなかったのですか？(結婚してくれと言われたが海外なのでついていかなかった。)

「〇〇〇〇年に〇〇しましたか？」という「年当て」。…今回も人生の中で、それぞれが記憶に残る、大きなイベントの「年当て」を、全員の中させることができた。

過去から現在、現在から未来に流れる情報時空の中の時間。未来から現在、現在から過去に流れる情報時空の中の時間。両方の流れが混在する情報時空の中で。過去、現在、未来の時間と空間を探っていく。

それぞれが情報時空の中で抱く、目標(ゴール)を求めるに向けて、最も優れた経路を探っていく。

その際、過去から現在までの、時空のポイントの整合性を、「命運のシナリオ」を参考に共に探っていくことで、現在から未来が、限りなく精度の高い、未来予想図と化す。

重要なのは、歩んできた「過去」が「年当て」によつて的中することで、「未来」の目標(ゴール)が、より着実な通過点であると「認識」できるようになること。自分の「過去」が当たる、「命運のシナリオ」。

情報時空の中で、「命運のシナリオ」に対する、圧倒的な「認識力」を、発生させることで。孔明がお話する「未来」にも、圧倒的な「認識力」が発生する。

過去から現在、現在から未来に流れる情報時空の中の時間による、呪縛の力。未来から現在、現在から過去に流れる情報時空の中の時間による、未来を見据え、決断する力。

情報時空の中の、陰と陽両方の時間の流れを、俯瞰レベルを上げた状態で、共存させる矛盾の中で。

「欲しい本を、Amazon で購入して、自宅に届くのを待っているだけ」

・・・である状態の如く。それぞれが、求めるみらいの目標(ゴール)というものが、着実な通過点であると、潜在意識レベルから認識できるようになるわけだ。

今回も、『命運の門鑑定』に参加された4人の方々のみらい。

Z.M.さん(女性)のみらい

- ・〇〇〇〇年から〇〇〇〇年まで、〇〇が企画した〇〇〇〇を行うと、〇〇が後ろから降ってきます。

R.H.さん(男性)のみらい

- ・〇〇〇〇年～〇〇〇〇年まで、東京で『〇〇〇〇倶楽部』を立ち上げトコトン謳歌しましょう。
- ・〇〇〇〇年～〇〇〇〇年までの〇〇年間、かつてに〇〇が後ろから降ってくるようになります。

J.I.さん(男性)のみらい

- ・〇〇〇〇年から〇年間、〇〇を高めることにとにかく集中しましょう。
- ・〇〇〇〇年から〇〇年間〇〇の方から背中を追いかけて来ます。

M.K.さん(女性)のみらい

- ・〇〇〇〇年～〇〇〇〇年は、とことん男性から〇〇できますね。
- ・〇〇〇〇年～〇〇〇〇年〇〇がドンドン入ってくるようになりますね。

それぞれの、みらいの目標(ゴール)というものは、確実な通過点であると、それぞれの情報時空中で、「認識」けることになった。

○男女陰陽太極図

この世に男と女が誕生したアダムとイブの時代から続く、本能レベルの原理原則、「男女陰陽太極図」。

これに基づく形で、男女間の均衡を保ち続けると、男女共に身体の核の部分から湧き上がるような、潜在エネルギーとも言えるものが沸き起こり続けることが分かっている。

男女共に、みずみずしく、若々しく、傍から見ても、一言で「潤ってる！」と言われるようになる。

逆に言えば、「男女陰陽太極図」に基づいた概念から遠ざかれば遠ざかるほど、潜在エネルギーが一向に湧いて来ないので、他人から見て、「何かが枯竭してる」ように見られてしまうようだ。これは、何も特殊な目利きの能力が無かったとしても、意外と誰でもできることだと思う。

経験があるのではないだろうか？今まで彼氏がいなかった友だちが、彼氏・彼女が出来た途端に、キラキラと輝き出したりするのを目の当たりにしたこと。何度も見たことがあるのではないだろうか？

付き合いだての頃は、特別なモードに入っているため、「男女の陰陽太極図」を知らなかったとしても、別の意味で燃え上がっていることもあり、男女共に比較的満たされやすい。

けれども、問題は付き合いが「3年目」に突入した時。「男女陰陽太極図」に基づくかたちで、男女間の人間関係が構成されていないと一気にほころびはじめる。

かつては、熱い恋愛からスタートした男女間の人間関係だったとしても、たちまち関係性は崩壊に向かう。

「石の上にも三年」

実はこの言葉は、もともと「男女」のことを、例えて語った言葉であること、多くの方々は知らない。

男女間で耐え続けるのは男性の役割。

既存の男女間の人間関係において重要なのは、男性側がいかにも「男女陰陽太極図」にもとづく、言動に徹し、「男女陰陽太極図」の男女間の均衡を保ち続けるために、耐え続けることができるか？

男性側が、「男女陰陽太極図」を知らなかったり、耐えきれなかったりすると、男女間の絆は、たちまち崩壊する。

男性は、女性よりも、耐え続けられる内臓(肝・心・脾・肺・腎)の機能を持っているのだから。ただひたすら、女性側との良好な「陰陽太極図」の均衡を保ち続けるために、耐え続ける忍耐力が求められる。

男性が彼氏・配偶者との関係を良くしたいと考えた時。ある日突然、パフォーマンスしところで、あまり効果が無い。

1日、2日でどうこうなる問題では無い。男女の均衡を保とうとする時に、重要なのは積み重ね。

途中でちゃぶ台をひっくり返したりすること無く、コツコツ、コツコツと。1年、5年、10年・・・ひたすら
耐え続けることができるかどうかが鍵となる。

けれども、女性との均衡を保とうとするために必要となる姿勢は。男性がビジネスで成功する時にも
求められること。

ゆえに、女性との人間関係を、継続的に、永続的に、均衡を保とうと努力し続けることができる男性
は。ビジネスの世界でも、人間関係を継続的に、永続的に保ち続けることができるため。自ずとビジ
ネスの世界でも、成功を掴み取ることができるようになる。

「男女陰陽太極図」に基づき、女性との人間関係を保ち続ける努力をし続ける。ビジネスの世界で、
成功を収められるようになる。・・・一度でも、ここまで到達できれば、その後は男性にとって、素晴ら
しい世界が広がっていくのである。

男性を初見で見極めるための「型」や「舞」。

娘たちとの食事の中、孔明パパとして娘たちに熱弁をふるっているのは、男性の判別方法。

孔明パパ:「パパの戦略術に則り、沢山デートを繰り返すといいよ！」

長女:「パパ天才！よくそんな戦略術を立てられるね！」

孔明パパ:「はじめのランチタイム。後はイトーヨーカドーに行けば、必要最低限の部分は全部分か
るよ！たった一回で判別できるからね！」

・・・娘たちにアドバイスしていることは、既に「完成されてる男性」を探すのではなく、今はゼロの状態
だとしても、「みらい」のポテンシャルのある男性の判別方法を教えている。

はじめての一对一のデートの中、具体的に何をすれば良いのか？

- ・ランチ中の「舞」
- ・イトーヨーカドーの「舞」

自分が「舞」を踊った時に、男性がどういう言動をすれば、どういう「みらい」が想定できるのか？

この判別方法も含めて、演舞のように、型を教えこんでいる。門に基づいた男性との相性における分析方法。体型や骨格から見た、男性との相性における分析方法。など含めて・・・およそ、父と娘の会話とは思えない内容が飛び交っている。

なぜ、ここまで実の娘たちに、男性を初見で見極めるための、「型」や「舞」を叩き込んでいるのか？

それは、「男女の陰陽太極図」を、女性側から見た時に、女性側が男性側を変えたりするために、努力したり、我慢したりする必要は無いからだ。

逆から見れば、女性が男性とお付き合いする際、後から後発的に、男性側に対して、耐え続けたり、変えようとしたり、頑張ってみたところで、良い改善は生まれない。

女性にとっては、お付き合いする際に、どういう男性を選択するか？

ここが全てと言っても過言ではないほど、「男女の陰陽太極図」の均衡を保ち続けるための重要度の比重が高い部分だからだ。まさに、白と黒で分かれている陰陽太極図の図の通りなのだ。

自分の恋人・配偶者となった男性が、女性である自分との、「男女陰陽太極図」に基づく人間関係の均衡を保つために、努力をし続けてくれる男性どうか？

この大部分は、最初の段階で決まる。途中、男性側によほど素晴らしい師匠やメンターの類が出現してくれない限り男性が後から劇的に変わることは無い。むしろ悪い方に、転落して行く場合が多い。

だから、いかにはじめの段階で、「男女の陰陽太極図」の均衡を保つ努力をしてしてくれるポテンシャルを秘め持つ男性を、獲得できるかが要となる。

当然ながら、そういう男性を、自分の虜にして、首輪をつけておく秘策も存在するため。

孔明パパ:「金閣寺の法則」とかを理解しておけば、男性は永遠に奴隷だよ。」

娘たちの人生において、最も大きな武器となる、この部分をしっかりと叩き込んでいるのである。「命運の門鑑定」の中では、「男女の陰陽太極図」に基づく形でアドバイスをさせて頂いている。

男性の参加者には、男性側が圧倒的に有利になるアドバイスを。女性の参加者には、女性側が圧倒的に有利になるアドバイスを。それぞれ、個別にカスタマイズさせる形で、事細かにアドバイスをさせて頂いている。

非常に制度の高い、統計的なものが蓄積されている。さらには、人間そのものを、客観的なデータ化する「門」「命式」「星」「命運のシナリオ」などの方法も完備されているため。個別の私感などから来る思い込みによるミスも発生しづらい。

この部分が、「命運の門鑑定」を経た方々が、男女共に、「運命変更」したかの如く、それまで生きてきた世界とは、まったく違う日常を、送り続けることができるようになる秘訣でもある。

○「婚活」と「恋愛」について

ちょうど孔明たちの世代からだろうか？世の中には、「就活」という言葉に並走する形で、「婚活」という言葉が台頭しはじめ、もの凄い勢いで広がって行った。

「婚活」においては、「結婚」そのものが、一つの自己実現という形で捉えられているようで。この部分を、俯瞰レベルを高めて深掘りして行くと……。 「婚活」の時期においては、人生における目標(ゴール)そのものが「結婚」になっているようだ。

今の日本における民法上の婚姻という契約制度である「結婚」は実はたった 100 年ちょっとの歴史しかない……。 by 福沢諭吉の貢献。

キリスト教が 2,000 年かけてようやく 130 カ国 r 中、30 カ国に浸透させた……。

……というような結婚制度が人類にとって良い悪いのお話は今日はおいておいて。「婚活」という部分に的をしぼり。お話を深掘りして行こう。

今日の日本では、「結婚」という概念そのものが、「儀式」的な価値があるように、独立して彷徨っている。

「婚活」の時に頭を中心に浮かんでいることは、「結婚式」の情景。結婚式の時、こういうドレスを着たい、こういう参列者たちを呼びたい、結婚式という儀式的想定が全ての延長上にあり、その儀式を「凄かったね！」と周りから褒められるために、お相手の男性もいる。。という思考の優先順位。

「凄いね！おめでとう！流石だね！」の2次会賛辞の声を、友人たちから聞くがため。結婚式の最中、参列者に紹介するための男性側の特徴としての「新郎プロフィール」。

高い学歴 高い年収 高い身長&顔の質を持った男性。ここをイメージしながら、結婚相手を探しをしているのだから、もはや「婚活=結婚活動」というよりは、「婚活=結婚式活動」と言っても、大げさではないのかもしれない。

人生の中で、目標(ゴール)に向かって、邁進するために、モチベーションを抱き続けるためには、「しなければならないこと」ではなく、「やりたいこと」をすること。

「結婚式活動」を経て「結婚」に至った場合は、「やりたいこと」=「結婚式の中で参列者たちに、旦那の優れたプロフィールを紹介してもらい賛辞の言葉をもらうこと」・・・なので、結婚式が終了した時点から、結婚後の生活がたちまち、「やりたいこと」ではなく、「しなければならないこと」だらけになってしまう。

結婚式で参列者たちに賛辞された手前、良い夫婦であり続けるための他人の前のフェイクパフォーマンス。子供をつくらなければならないからの夫婦間の夜の交接。

・・・結婚後の夫婦生活、その全てが「しなければならないこと」ばかりになり、当然のことながら、家の中が、最も息苦しい場所へと化す。

同時に、「何でコイツと結婚したのだろう？」特に女性側が男性側に対して、こういう考え方を持つ傾向が多い。その証拠に、日本の「Yahoo!JAPAN」では、検索ワードに「旦那」という単語を入れると・・・

1位:旦那 ストレス

2位:旦那が嫌いで仕方がない

3位:旦那 イライラ

4位:旦那 浮気

5位:旦那が嫌い

6位:旦那 誕生日プレゼント

7位:旦那 嫌い

8位:旦那 むかつく

9位:旦那 モラハラ

10位:旦那にイライラ

・・・と、10位中9位が、旦那である男たちから見たら、救われない「暗黒ワード」で覆われてしまっ

いる。

6位の、「旦那 誕生日 プレゼント」という一見幸せそうな、単語も唯一ランクインしているが。前後の関連ワードから推測すると、「旦那は嫌いだけど、誕生日という儀式だから、仕方がないからプレゼントしなければ・・・」けど、何が適切か自分の頭では面倒くさくて考えたくないから検索しよう・・・」的な、「旦那 誕生日 プレゼント」の検索である・・・ということも、ついつい深読みしてしまう。

ちなみに、「婚活」・・・「結婚式活動」を終了し、旦那のことがドンドン嫌いになって行く、女性側に反する形で、旦那である男性は、「結婚式活動」を経ても、嫁さん側の態度の変化を分からないままなのか。比較的に、嫁さんとの夫婦関係をポジティブに捉えている場合が多い。

その証拠に、日本の「Yahoo!JAPAN」の、検索ワードに「嫁」という単語を入れると・・・

1位:嫁姑ブログ

2位:嫁 かわいい

3位:嫁 画像

4位:嫁姑問題

5位:嫁 嫌い

6位:嫁が勝手にアラーム

7位:嫁は崖っぷちアイドル

8位:嫁が嫌い

9位:嫁 愛してる

・・・と、先程の女性側が検索する「旦那」関連ワードの「暗黒具合」に相反する形で、まだ平和で愛を感じる要素のある関連ワードが出てくる。

「大切な母と、大好きな嫁さんとの間の、問題の解決方法はないだろうか？」

・・・一所懸命に模索しようとする姿勢が、世の男性たち。。。健気である。検索関連ワードを、アナライザーなどを活用して、もっと深掘りして調べていくと、世の中の大多数の夫婦の内、圧倒的に「嫁」である女性側の方が、「旦那」である男性のことを、結婚後に嫌いになり、別れたがくなる・・・という「闇」具合を、数値的なデータとして、算出することもできる。

さらには、孔明のところに相談に来られる既婚女性の方々も、同じ問題を抱えている方々が、圧倒的に多い。

客観的な数値的なデータと私感的な肌感覚を整合させると、な、なんと・・・およそ9割の「結婚」してい

る既婚女性たちが、「旦那と別れたい・・・」と日夜、真剣に考えているのである。

最近、既婚女性たちによる、「女性起業家」的なものが、ブームになっているが、これも、統計と私感を融合させて市場調査して行くと、

「旦那に財布(収入源)を握られている状態だと、大嫌いな旦那と別れたくとも別れられないから、離婚後も自分だけで生活できるように、自分が稼げる状態になりたい by 既婚女性」・・・という、潜在的な動機から、来ていることを分析することができる。

だから自ずと、

旦那の収入よりも大きい月 7 桁の収入があり

旦那の給料も自分が管理していて

旦那はすべて自分に従ってくれていて

旦那以外にもお茶のみボーイフレンドが沢山いて

夜の営みも潤っていて

自分が言いにくいことを代弁する形でなんでも言える・・・という「女性起業家カリスマ」が、WEB 上でも人気になっていく。

「門使い」的には「結婚」をどう言語化するか? 「門」に関してお話した、24 時間孔明がお話続けた動画を、無料で公開しているが。

(24 時間「門」について語り続けた動画・音声 <https://sanadakoumei.com/lp/shura/>)

実は、「男女陰陽太極図」を交えた、「門」のお話をするとしたら、もう 48 時間位、ぶっ通しでお話続けることができる自信がある。

月財門の孔明は、生まれながらの特性的に、「有言不実行」自分が一切やらなくとも、俯瞰レベルを上げて世の中で発生している現象を統計的に捉え。

物事の、原理原則を、すぐに理解することができる。(孔明だけでなく、月財門なら誰でもできる!)

しかも孔明は個人的に、

小学校:保健委員 3 年間(最上級は保健委員長)

中学校:保健委員 3 年間(最上級は保健委員長)

高校:部活毎年 100 名近くの男子の統計

大学:部活毎年 100 名以上の男子の統計

ブロガーアドバイス時の万を超える統計

・・・物凄く膨大な、人間のデータベースが頭の中に叩き込まれている。今では、「門」「命式」「命運のシナリオ」・・・などの客観的に算出できるデータも武器として持っていることもあり、四柱推命鑑定士としての数千の統計も蓄積。

たとえば、孔明自身に、彼女など出来たことも無い時代。手も「マイムマイム」のときくらいしか、触ったこともないチェリーな頃。(孔明は「エターナルチェリー」だが。。)

高校一年生の時の共学高校に進学した幼馴染に、男子高校に通っている状態にも関わらず。状況を理解する形でアドバイスをし、その場で電話をさせて、彼女(今の嫁さん)との関係性を成就させたこと・・・をはじめ、自分のことを棚に上げての他人にアドバイス・・・、の際の分析は外さない。月財門の軍師なので。。リアルの世界中心ではあるが、「コンパ幹事時代」含め、「お見合いオジジ」のように、物凄い数の男女をマッチングさせて来た。

そんな孔明が、「門使い」として、「男女陰陽太極図」を元に、「結婚」を言語化して行くと・・・とにかく、「婚活」をすると、自分にとって良好な相手との「結婚」が成立する可能性は限りなく低くなるようだ。

「婚活」・・・「結婚活動」「結婚式活動」。「結婚しなければならない！」という気持が、ほんの少しでもある状態で結婚相手を探そうとすると、なぜか時空では、「結婚」を失敗させる逆方向の流れが発生してしまう。

「結婚式」の「新婦プロフィール紹介」を想定した旦那候補探し。。と言えどイメージ湧くかもしれないが、その必要最低条件を満たした人が、良い人とかに見えてしまう力量が働いてしまう。

感覚センサー自体に、「誤解・間違い・勘違い」を発生させて、時として「運命の人」とまで、誤認してしまう。

けれども、「結婚式活動」の目標(ゴール)はあくまでも「結婚式」。「結婚式」が終わったら、「やりたいこと」に基づく目標(ゴール)が達成した後なので、センサーが元に戻り、「好きでもない旦那」だけが、日本の民法の縛りの中で残っている状態になる。

また、「やりたいこと」が「結婚式」ではなく。最初から、「しなければならない」の場合・・・。もう適齢期だからそろそろ結婚しなくてはならない。親から言われたから結婚しなくてはならない。こういう気持ちを胸に抱いている状態での、「婚活」。その状態はかなりまずい状態。

親に「結婚しなさい！」と言われたから。。。「周りが結婚していくから！」「適齢期だから・・・」という「しなければならない」状態で、無理やり探した結婚相手には、「自分にとって」ろくな相手がいない可能性が高い。

「子供が欲しいから結婚」・・・という場合も同じである。子供が欲しいから結婚した方々は、子供という存在が、この世に誕生した瞬間に、「やりたいこと」のミッションは、達成してしまうので、一瞬にして、夫婦生活としての、モチベーションは吹き飛ぶ。

同じくそこには、旦那との間にできた子供たちと、民法に基づいて共同サインをした「婚姻届」と共に好きでも何でもないもはや人ではなく「物質」的な存在と化した旦那だけが、同じ家の中に存在し続けている状態になる。

「したくなければ結婚するな！」と言いたいが・・・「モチベーション」という観点から見れば、「しなければならない」という言葉を、自分の人生の中で、入れてはならない。

だから本来は、「結婚」そのものが、「しなければならない」という状態になってしまうのであれば。「結婚」をしなくて良い！

子供が出来たからと言って、「結婚」をしなくて良い！・・・というのが「門」や「陰陽太極図」的な、見地からの結論なのだ。

しかし・・・100年ちょっと位前に、日本ではキリスト教に基づく「結婚」に関する新ルールが登場してしまったため。

「子供ができれば、結婚しなければならない」「結婚しないのなら、子作りしてはならない」・・・的な社会的習慣があり、ココとのバトルにいかにか打ち勝つか・・・がポイントになる。

・ 無理矢理の結婚生活でハンコを押した、好きでも無い旦那との夫婦生活に耐え続けるか？

or

・好きでも無い相手とは無理やり結婚しないで、もしも子供が欲しければ未婚でつくって、両親と周りの親戚、友人たちからのプレッシャーにどう耐え続けられるか？

この天秤のどちらに傾くか・・・という部分が、自己判断ポイントとなる。でも、そういう社会常識的な難しさがあるのを理解した上で、「門使い」的にぶっちゃけて言ってしまうと・・・

「結婚したくなければするな！」

「結婚に適齢期など無い！」

「妊娠したからと言って結婚する必要は無い！」

「明日死んで墓場に入るその前日に、結婚してもいい！」

こう声を大にして本当は言いたい。

「命運の門鑑定」に来られた未婚の方々がアドバイス受けることは、「しなければならない」婚活や結婚ではない。「結婚」ではなく、「恋愛」そのものに集中してもらうことだ。

たとえば、2017年5月の「命運の門鑑定」では、偶然にも、幸運にも、「しなければならない」結婚をするという決断をされなかった、勇気行動実行力のある、「独身女性」の方が3名参加された。

彼女たちにしてもらいたいことは・・・自分が生まれながらに持つ、「門」「命式」「命運のシナリオ」「星」などを理解してもらうこと。潜在的に眠っている、「恋愛力」の底力を引き出してもらうことだ。

「恋愛」というものには、日本において民法上の縛りは無い。そこが、法律的に強く縛られた「結婚」とは大きく違う部分である。

ただし、ここでも注意が必要である。「恋愛」は、誰からも何者からも、縛られるものは無いのだから。「恋愛」も、「しなければならない」になってしまってはならない。

たとえば、女性誌などの特集記事を参考にして、「恋愛」しないと「美容」と「健康」によくないから「恋愛」をしなければならない。・・・という動機からはじめる、「恋愛」もやらない方が良い。

「恋愛」が、「しなければならないこと」になれば、逆にその「恋愛」は、本人から「美容」と「健康」を奪うことにもつながる。

「恋愛」も、「しなければならない」からやるのではなく。「やりたい」からやる。たまたま、偶然にも巡り会えた男女共に両方が好き合ったからラッキー！片思いだけだったアンラッキー！

最初は男性のことが好きでなくても、男性から好き好き言われ続けている内に、本当に好きになった・・・はOK。・・・という感じである。

「結婚しなければならない」的な、世の中にはびこる社会的習慣がある中、それに抗う形で、自分の「やりたいこと」を貫き通し続けることはとても困難なことではあるが。「しなければならない」で、決断してしまった先には、もっと大きな苦痛が待っている。

結局どちらの道を選択するかは、それぞれの自由意志に委ねられる形にはなるが、古代・現代の統計に基づいて、分かっていることは、事前にお伝えしている次第である。

世の中の多くの女性の悩みの大多数は、どうやって結婚しようか？という悩みではない。

どうやって結婚して好きでなくなってしまったこの旦那と別れるか？世の中の大多数の女性の最大の悩みである。

「アイツと離婚したいのに、なかなか離婚させてくれません。」

「とにかく旦那と別れたいのですがどうしたらいいですか？」

・・・けれども、男性側は逆の思考が働いていて。「検索ワード」にあったように、ポジティブに捉えている。結婚したら、「男性側」はなかなか離婚させてくれない場合が多い。

○旦那が奥様に「死」を願われる本当の理由

「命運の門鑑定」の最中。香港のラグジュアリーホテルのクラブラウンジにて、男3人での朝食。男だけの時にしか、語れない「ボーイズトーク」。その大多数は、とうていオモテ側に公開できないものであるが。その中で出てきたお話の一つとして。「世の中の大多数の既婚男性は、奥様との交接(セックス)レスで深刻に悩んでいる。」・・・というお話になり、その問題への対策が無いものかを、討論していた。

孔明のところに鑑定に来られる既婚男性たちは口々に愚痴をもらす。「婚姻届にハンコを押した時は、もう、これから一生、「交接」に関する心配とはサヨナラを告げられる！」・・・と思い、ワクワクした気持で、婚姻届にハンコを押した。

しかし、婚姻届にハンコを押して、楽しい夫婦生活が始まると思いきや。しばらく経過した後で、ジワリジワリと真綿で首を絞めつけられるように、絶望を味わうことになる。

それは・・・結婚をして、子供が生まれた途端、たちまち奥様との間で、「交接レス」がはじまるのだ。

中には、まだ40歳前後にも関わらず、「あなたとは一生いない」と奥様に断言された男性までかなり沢山いる。

こういう男性に限って、生まれながらに「男としての機能」が強かったりもするのだが。。。ハンコを押した婚姻届もあるから、民法上では、奥様としか「交接」できない状況。

・・・にも関わらず、「あなたとは一生いない」と宣言され、実際に宣言後に「交接」が無い。

もともと男としての欲が強いにも関わらず。これは、女性にはあまり分からないことかもしれないが、男性にとっては「死刑宣告」をされたのと同じである。

その瞬間、男性たちは、素直に感じてしまう。「騙された・・・。」と。

男性がこういう状況に追い詰められた後は、男として全ての自信を完全に喪失してダメ男になるか。それとも・・・大きく分けて、2通りの道しか存在しないのである。

男とは、いかに悲しき生き物だろうか？非常に深刻な問題なので、現在我々も、男女の陰陽太極図、門という視点、房中術の視点、古今東西ありとあらゆる叡智を総動員する形で、問題への対策に対して、多くの同志たちの支持を得ながら、密かに研究、実験と研究が繰り返されている。

人生を左右するような大きな問題への対策に関して、今日ここで論じることは無いが、この状況は、別の視点からみるとさらに深刻な潜在的な問題を抱えている。

もはや、「交接レス」どころの事態では無かったりする。本当に深刻な問題だ。

それは・・・。大多数の奥様たちは、旦那との子供を産んだ後、旦那に早死してもらいたいと潜在的に考えているのである。

世界的な大ヒット作品となった、映画『タイタニック』。

非常に面白い作品であり、孔明も映画館で観たのを含めて、何度も視聴したことがある。世界中の女性たちが、涙を流した作品である。けれども、『タイタニック』のラストシーンを、見た時、逆に孔明は冷めてしまった。

おばあちゃんになった、主人公の女性が、部屋の中で過去の思い出話を話しているシーン。どういふふう冷めたかと言うと、

「なんだ、この女、ディカプリオ死んだ後、結局裕福な男性と再婚してるんじゃない！」・・・過去のお話を語る家の中で、その後の幸せそうに暮らしている写真が並んでいるシーンを見て、当時の孔明は素直にそう思った。

男性的には、ものすごく冷めるシーンである。けれども、女性から見た時には、このシーンを真逆に捉えているようだ。。

一夜の燃えるような熱愛をした最愛のディカプリオが、自分の命を犠牲にして、自分を救ってくれた。ディカプリオは、お星様になったので、もう他の女性と、浮気も何もできない。

そして、最愛のディカプリオの子供を授かったまま、その後も、経済的に裕福な男性と結婚しおばあちゃんになるまで幸せな人生を歩むことができた。・・・ということに、感動して涙を流すのである。

実は、男性からの視点と、女性からの視点、「男女の陰陽太極図」に基づく対極的な思考が働く部分である。

『タイタニック』のラストシーンで冷める男性。感動できる女性。この一節にも、現代社会が生んだ、夫婦間の様々な問題を生み出している根源部分が見え隠れする。

つまり、女性は潜在的なレベルで、自分に子供を残してくれた、最愛の男性には、すぐに死んでもらいたいと思う思考が働いている。。理性ではなく、本能レベルで。

生物的に内臓(肝・心・脾・肺・腎)が強い女性ほど、顕著にこの傾向が現れてしまうのだ。

かつて・・・男とはすぐに死ぬ生物だった。なぜなら、人類 20 万年とも言われる歴史の中で。男は、狩りに行っては死ぬ。戦争に行ってもは死ぬ。

何をやっても、すぐに死んでしまう。男と死は、常に背中合わせだったからだ。

頑張りやさんで、身体を一生懸命鍛え続けたりしてるのに、脆く切なく儂い生物。それが男だったのだ。

だから、女性の立場から見た時・・・。一人目の愛した男性、熱愛の中で交接を繰り返し、子供を授かった時には、狩りや戦争で死んでお星様になってしまった。。夜空のお星様を見上げる度に、毎日悲しみにひたり、泣き続ける。

けれども、1 年もすれば、かつて熱愛の元、子供を残してくれた男性が、お星様となって私を見守ってくれているという気持ちに切り替わっている。

その後、また別の男性が現れて、新しい恋に落ちる。その新しい男性も、交接を繰り返し、子供を残した後、また狩りや戦争で死んでお星様になってしまった。

・・・ということが、生きている間、何度も何度も繰り返し続いてしまう位、いとも簡単に、男性が死んでしまったのだ。

こうすることが、20 万年も繰り返し続いた中で、男性と女性それぞれの本能というものが形成されて来た。

女性には、過去にどんなに熱愛した男性がいたとしても。その男性が死別しても、新しい男性と恋に落ちれば、過去の男性は地層の下の化石の如くまるで過去に何事もなかったかのように記憶の表面から沈める形で封印。

未練を微塵足りとも残さず封印できる機能が生物的に備わっている。

・男性と出会い恋に落ちる

↓

・男女の交接によって子供ができる

↓

・男性が狩りや戦争で死ぬ

↓

・泣き続けてデトックス

↓

・徐々に復活

↓

・新たな男性と出会い恋に落ちる

↓

・過去の男性は「地層下の化石化」

↓

・男女の交接によって子供ができる

↓

・男性が狩りや戦争で死ぬ

↓

・泣き続けてデトックス

↓

以降繰り返しという流れが、脈々と DNA の「情報時空」の中に、プログラム強化され続けて来たのだ。

内臓(肝・心・脾・肺・腎)の強い生物的に強い女性ほど、この能力が強い。

ところが近年、20 万年の人類プログラム反した、異常とも言われる事態が勃発した。

それは・・・突然、世の中の男たちが、死ななくなってしまったのだ。20 万年に対して、たかだか70 年間、天変地異にも例えられる変化。女性の中に脈々と受け継がれたプログラムの中は、もはやパニック状態だ。

孔明たちが生まれ育った、日本という国に目を向けてみよう。第二次世界大戦以降、日本にも平和が訪れた。今まで男性が死ぬ機会が多かった、戦争によって男性が死ぬことが無くなった。

さらに、狩りでも、飢餓でも、病気でもなかなか死ななくなった男性。

ところが、ここで女性の DNA レベルの潜在的プログラムに異常事態が勃発してしまった。

それは・・・男性に出会い恋に落ちる。男女の交接によって子供ができる。

ここまでは良いのだが、その後に男性が死ななくなったことで、それまで 20 万年の人類史の中で当たり前のようになった、

男性が死んだら次の男性へ・・・。男性が死んだら次の男性へ・・・。この循環というか流動が、一切無くなってしまったのだ。そして、ゾンビのように死なない男性が、ずっと生き残り続けている。

しかも、狩りにも、戦争にも行かずに、引きこもりがちに、家の中に居座り続け、奥様である女性を監視し束縛し続けている。。

もはや、女性の DNA レベルの本能プログラムから見れば、異常事態である。便秘をして、大腸に〇詰まり状態よりも、絶対に流動しないのだから。。

だから、結婚をする。。男女の交接によって子供を授かる。夫婦間で交接レスになる・・・世の既婚子持ち男性たち大多数は、夫婦の交接レスで悩み続けている場合が多いが。本当の問題は、そんな「交接レス」という軽いものではなく、もっともっと、DNA の本能レベルの根深いもの。

世の中の子供を生んだ後の、奥様たちは、理性的な表面的な思考では、亭主は元気で留守が良いと思っているが。DNA の本能レベルでの潜在的には、亭主は戦争に行つて死んで欲しい。・・・と、思っているのである。

だから、家庭内で、奥様を超大切にしている男性でさえ。潜在的には、「死んでくれないかな・・・」と思われているのに、仮に奥様を敵に回すような言動を発してしまう旦那の場合は、もはや、潜在的な本能レベルだけではなく、表面的な理性レベルでも、真剣に「死んで欲しい」と思われていて、その念を受け続けて家の中で暮らしていることになる。

ちなみに、既婚子持ち女性たちのガールズトークでも、「旦那を早死させる方法」というものが情報として出回っているようだ。

少しだけ挙げさせて頂くと・・・。

「旦那を早死させる方法」

- ・旦那を徹底的に太らせるメタボリックシンドロームにさせて、糖尿病、高脂血症、動脈硬化、高血圧を誘発させる。
- ・旦那に酒を沢山飲ませる体内に活性酸素が大量に発生、肝臓の細胞を壊しまくり、肝硬変に。
- ・旦那を座ったままにさせるずっと座ったままにさせることで、血・気・水の流れが滞り、体内で渋滞が発生しまくり様々な器官を弱らせる。
- ・旦那に塩分を沢山摂らせる食事の味付けはできるだけ濃くして、血圧を確実に上げて行く。
- ・旦那にコーヒーをがぶ飲みさせるコーヒーには砂糖とミルクを沢山入れる。どれだけ砂糖とミルクを濃くしても、気づかれにくいのがコーヒー。確実に血糖値を上げていく。
- ・旦那にタバコを沢山吸わせる肺とか腎とかに、着実にダメージを与え続ける。
- ・旦那に飽和脂肪酸を沢山摂取させる。上等な霜降り肉、卵を沢山食べさせることでコレステロールを上げていく。
- ・旦那に揚げ物を沢山食べさせる揚げ物に背脂系の食べ物を主食にしてもらうことで、体内の血・気・水の滞りは悪くなり、肝臓も燃えまくり様々な器官を破壊する。
- ・旦那に文句を言いまくる最後の仕上げは旦那の顔を見た時に、文句を言いまくり、ストレスを高くする。

以上。当然ながら、この真逆を行えば、旦那は健康になり、長生きしてくれるのだが・・・。

果たして、それぞれの奥様は、どちらなのだろうか？「旦那を早死させる方法」を忠実に再現されてしまうと、孔明たちは、男性としての機能も弱らせられたまま戦争の死などの、格好良さも無いまま、お星様になれないまま、徐々に弱りながら死んでいく。

・・・ということで、『命運の門鑑定』に参加された既婚・子持ち男性たちとは、「もはや交接レスどころか、死を願われている問題」への対策として、かなり真剣に話し合っている。

○理想の相手と巡り会えない理由は「運」ではない

「理想の相手と中々巡り会えません。私は運が無いのでしょうか？」「命運の門鑑定」に参加された方々には、そうのように考え、相談される方が多い。

聞けば、「今年、友人主催の合コンなどに数回出席したのですが一向に理想の男性と会うことができません。」ということなのだ。

合コンが、パーティーだったりすることもあるが。そこで孔明は、次のような質問を試みる。

孔明:「数回出席した合コンで、累計何人の男性と会ったのですか？」

すると・・・「一回4人の男性として、累計16人です。」孔明が申し上げるのは、

孔明:「大丈夫です。その場合、問題は運が良い悪いではありません。ただ単に「出会いの絶対数」が少なすぎるだけです。これまでの状況では、理想の男性に巡り会えないのは、当然のことです。」

孔明:「あなたが、中学校時代通っていた学校は、一学年何人の生徒がいましたか？」

「一学年400人以上はいました。」

孔明:「すると、その内男性は200人位ですよね？」

「はい。そうでした。」

孔明:「それでは、その中で好きな男性は何人位いましたか？」

「えええっと、超好きな男性が1人だけ。まあまあな男性が2人だけでした。」

孔明:「ということは、過去の実績に基づくと、あなたが超好きな男性に巡り会える確率は、200人に1人、0.5%の確率ですね。まあまあ好きな男性含めると、200人に3人、1.5%の確率ですね。」

「はあ。」

孔明:「とすれば、超好きな男性に出会うためには、一回4人の男性が来る合コンベースで50回は出席しないとなりません。毎週一回のペースで出席したとすると、1年間52週なので、約1年間かかりますね。」

「そんなに。。。」

孔明:「まあまあ好きな男性含めると、16、17回は合コンに出席しなければならない計算になります。」

孔明:「でも、実際に、合コンやパーティーだと、「彼女欲しい……」という前のめりの男性ばかりが来るので、この割合はもっと下がるかもしれませんね。」

「確かに。。。」

孔明:「合コンとかパーティーは、お金も、時間も、労力も沢山かかるので非効率です。「男女の陰陽太極図」から見ると、あなたにとって、属性もよくないです。」

孔明:「あなたは、○○○なので、○色の服を着て、○○○○のお守りと○○○のパワーストーンを持って、これに臨んでください！」

…こういう風に、軍師というものは、経済のお話だけではなく、男女の恋愛や出会いに関しても、数字や理論に換算して考えて、戦略術を練り、主君に対して提案するのである。

「命運の門鑑定」の中では、男女の出席者共に、「理想のお相手」と巡り合うためにはどうしたら良いか？…という質問を頂戴することが多々あるが、軍師としては、ゼロスタートの状態から、最も効率的に、効果的に、理想の異性と巡り合う方法。

更には、たった一度のデートだけで、まるで「門鑑定」でもしたかのように、全ての自分にとっての理

想かどうかの適性を、確認させてしまう術まで、提案するのである。

ちなみに、これは、「命運の門鑑定」に参加された方々だけではなく、実の娘たちにも、今のうちから叩き込んでいる処世術でもある。

孔明パパ:「最低でも 200 人の男性とデートしないと。理想のお相手に巡り会えない。でも安心して、初日のデートで全てが分かるから、ムダを打つことはない！」

孔明パパ:「アルバイトの場所は、〇〇〇〇の〇〇〇〇と、〇〇〇〇の〇〇〇〇と、〇〇〇〇の〇〇〇〇のどこが良いと思う？想定してみなさい！」

孔明パパ:「初回のデートで確認することは……。ランチは〇〇〇で、ランチ後に『イトーヨーカドー』に行く。(中略)それでその男の未来のポテンシャルが全て見える！」

およそ、パパが娘にするお話ではないことが、孔明家の家族ディナーの時には平然と飛び交っている。

月官門の次女は、ケラケラ笑ってるだけだが。特に陽創門の長女は、門の 24 時間セミナーを全て参加して聞き入ってくれたように、孔明パパのお話を真剣に聴いてくれているのである。戦略・戦術・兵站勝利に必要な兵法三原則を、娘に対しても軍師パパとして、提供しているのである。

そして孔明が生まれながらに持つ、月財門の軍師としての能力は、孔明に対して、お金を支払って下さった方にも発動する。

「命運の門鑑定」に参加された方々は、アクティビティの最中、軍師である孔明の主君となる。孔明を召し抱えて下さり、主君となった方に対して、超効率よく出会いの絶対数を上げる方法。初回のデートだけで、全てを見抜く方法。軍師として、戦略・戦術・兵站……さらには、命理学や占術といったものまで動員して、ご提案を差し上げる次第である。

○「既にハイスペックな男性」の落とし穴

孔明には 2 人の娘もいて、家の中では女性 3 人に囲まれている環境で生活している状態であるが。正直、未だに、女性の気持ちというもの、自分の感情にシンクロさせる形では理解できていない。けれども、鑑定などの活動を通して、女性たちの「質問」にも回答することになる。

その際、孔明が採用しているのは、「孔明の考えや気持ち」ではない。あくまでも太古の時代から脈々と受け継がれている「男女陰陽太極図」。さらには着々と蓄積を続けている膨大な量の統計データ。

「男女の陰陽太極図」「現代の統計データ」この 2 つのデータベースを元に、鑑定を受ける方々の、生まれながらの門。生まれながらの星。命運のシナリオ。時空の答え。客観的な算出結果を、時空の兆しとして右から左に、そのままお答えしているにすぎない。

だから、孔明が回答させて頂いたことが、鑑定を受ける女性の方々の、心境に対してどのように作用するのかまでは分からない部分がある。

けれども、一つ言えることは、人生の中での「やりたいこと」を算出し「魂」の固定化と共に、「インストール」するお手伝いをする。その部分では、結果として貢献できているのではないか？ということなどは、鑑定後に頂戴する、「感想メッセージ」などから、客観的に見て取ることができる。

それほどに、男性から見た女性というものは、「未知」極まりないものなのだ。

孔明個人的には、「オレは女性の気持ちが分かる！」と言い切れる男性は、ポジショントークか嘘っぱちかどちらかではないかと思っている。

けれども、孔明的には、「気持ちが分からない」からこそ、俯瞰レベルを一つ上げて見ると、客観的な現象として見て取れることがある。

今日はそういう見地から、世の中の多くの女性たちが、漠然とした形で抱いていらっしやる目標(ゴール)の一つ「結婚」というものを、これまでとは違った角度からの言語化に挑戦してみようと思う。

「結婚後のシアワセな生活」とは？女性たちの多くが最も重きを置いているものとして、男性との「結婚」というものがあるようだ。この背景にあるものを算出して行くと、

将来のお金の不安と悩みを結婚することで解消したい。子供を出産した場合、良い学校に進学して良い会社に就職できるよう立派に育てたい。これらの願望を実現するためには、稼ぐ力・資産を持つ男性と結婚したい。という背景があるようだ。と言っても、生まれ育った世代によっても違いがあるようで。

大学卒業後の直後の次期は、「結婚式」の成功。社会人 10 年戦士に近づくにつれ、仕事の辛い人

間関係と将来のお金の不安と悩みからの脱出・・・と、重要視している部分が少しずつ変わってくるのであるが。

特に孔明と同年代プラスマイナス 10 歳位の方々。バブル崩壊後の 1990 年代の時に青春を過ごした方々は。

中途半端にバブル世代の影響を受けていることもあり、「お金」を基準とした要求が高くなる傾向が見られる。

この世代の大多数の女性たちが潜在的に抱いている目標(ゴール)は、「結婚後のシアワセな生活」。

「結婚後のシアワセな生活」とは・・・

豪華なタワーマンションや新築戸建てに住む(当然両親達とは別居の核家族)。外車。高学歴の子供。家に友人を招いてホームパーティー・・・この 4 つをもって「シ・ア・ワ・セ」と言うようだ。

このような「シアワセ」のパターンが決まってきた背景には、孔明たちの世代が視聴して来た、テレビやドラマ、映画、雑誌などの影響を受けてきて、この全てを網羅できる環境こそが「結婚」であると、潜在的に認識してしまっているというものがある。

けれども、この「シアワセ」の形には、人類 20 万年の中で培ってきた本来人間が機能とは大きくずれが生じている部分があり。それが、水面下で大きな問題になってしまっている。

多くの女性たちに、不安と悩みの気持ちを抱かせ続ける元凶になっているようなのだ。

確かに、「子供が欲しい」と思うのは、孔明たち人間にとって普通の欲求に準じている。けれども、顔が良く。頭も良く。将来高学歴になり。将来良い企業に就職できるそんな、「ハイスペックな子供が欲しい」と考えてしまったとしたら、ここにはズレが生じている。

全ては子供自身がどうか？というよりは、子供の母親になる女性自身が、他人様、世間様から見てどうか？テレビやドラマ、雑誌のように「シアワセ」そうに見えるか？という新しく作られたプライド的な欲求の元での、ハイスペックな子供となると、話がおかしくなる。

「ハイスペックな子供」を期待して「優秀な遺伝子を得よう」と、結婚対象の男性に対して、卒業した大学のレベル、医者や弁護士などの国家資格、フェラーリ、ベンツなどの乗ってる車、男性の顔のクオ

リテイや身長の高さ、など、スペックが高いか低いかをベースにして男性を判断するようになる。

女性である自分自身も、受験勉強して、高校に進学し、大学に進学し、様々な資格を身に着ける。

化粧品、美容院、ネイル、エステ、洋服・・・これまで沢山の金、時間、労力をかけて、自分を磨き続けて来たのだから、「私こそはハイスペック男性と巡り会いシアワセにしてみたい資格と権利がある！」と考えるようになる。

同時に、そんなハイスペックな私が、「こんな男と結婚して妥協した」などと、友人や同僚たちから思われたくないという世間様の目も気になり続ける。

その結果、「結婚活動」として、高学歴、高収入、高いアウトルックの「既にハイスペックな男性」

有名企業に務めるか、医者か弁護士などの資格があるか、青年実業家か。外車を所有していて、タワーマンションに住んでいる。

そういう、あるべき男性の「スペック条件」だけが先行する形であり、その「スペック条件」を満たしている男性を物色するようになる。

けれども、「スペック条件」だけが先行しているのだから、「今日出会った時点」でその状態になっている「既にハイスペックな男性」以外の男性たちは、全て「アウトオブ眼中」の対象外。感心も興味も、全くと言って良いほど沸き起こらなくなってしまう。

婚活目的の合コンやパーティーに、いくら沢山男性が来ていようと、いくら何を語って来ようと、お話は全て右から左、左から右。「既にハイスペックな男性」でなければ、透明人間とか、道端の石ころくらいにしか見えないのである。

お金という枠組みで「スペック条件」を確認してみると、理想の男性像は、最低でも年収 1,000 万円以上。超妥協して、年収 600 万円と言ったところ。けれども、未婚の結婚適齢期の男性で、この収入を突破できる男性は本当に少ない。

もう一つ大きな問題がある。仮に、既に、年収 1,000 万円があり、外車を持ち、タワーマンションに住んでいる独身男性がいたとしても、実はその背後には、独身女性たちが行列を作って並んでしまっている。こういう現象が、発生してしまっているのが鉄板的な事実。

「どうやったら良い男性と巡り会えますか？」という質問が来ることがある。けれども、この質問の背後にあるのは、「どうやったら、高学歴、高収入、高いアウトルックのハイスペックな良い男性と巡り会えますか？」・・・という場合が多いようだ。

「みずほ銀行で購入した宝くじに当選しますか？」・・・と質問されているのと同じようなことなので、これに対しては「うーん」とうなり。話題をさらりと別の角度へと変更するしか無いのが、正直なところである。

「鑑定」の中では、「質問」をされた方に、直接お答えするのもセンシティブな部分なので、この場をお借りして相対論としてお話をさせて頂きたい。

たしかに世の中には、独身であるが、既にハイスペックな男性という男性もいる。高収入、タワー型マンション、外車、を持っていて、顔もイケメンという男たちも、いることはいる。

けれども、彼らの実態を、ボーイズトーク的なヒアリングから情報収集させて頂くと。そもそも、全くもって、結婚する気がない場合が多い。

なにせ、10人以上の彼女が同時にいるのだから。好きな時に、好きな女性とデートをする。飽きたりうるさくなったら別れる。

そして、新しい女性と出会ったらストック的に付き合う。・・・こういったノリである。

その今の状態をスーパー謳歌しているのに、何が楽しくて、他全ての女性との関係を切らなくてはならず、束縛が強かれ続けられる、誰か一人との「結婚」という道を選択するのか？

「意味不明！」と言った感じである。

自分は間違いなく「独身」。だから、「婚活、婚活」と言い続けていれば、沢山女性が寄って来る。

たいしてお金を無駄に浪費しておごったりしなくても、エッチもすぐにさせてくれるので、このままおじいちゃんになって、墓場に入るまで、「生涯婚活」を掲げ続けよう！とも高い確率で考えている。

また、ここが一番重要な部分であるが、「既にハイスペック男性」の場合、自分が成り上がることができたのは、彼女でも、奥様でも、他の誰かのおかげではなく、全て100%は、自分自身の実力であると、信じて疑わない状態。

万が一結婚することになったとしても、結婚後も変わらない。。だから、奥様に対する借りとか恩とかもまったく感じない。結婚生活の中で、嫁さんにムカつくことを言われたりしたら、ブチ切れる。すぐにどこか別の新しい女性に走ってしまうのである。

女性視点で見た時に、出会った時から「既にハイスペックな男性」。そんな美味しい話は残念ながら、どこにも転がってない・・・。

これは、男女の陰陽太極図。現代の統計データ。生まれながらの門。生まれながらの星。命運のシナリオ。時空の答え・・・全てを総動員しても、どこにも転がっていない。。というのが、正直なところ。

男性との出会いに、「高スペック」を優先し続けた結果、みずほ銀行の宝くじの 1,000 万円に的中する確率で「既に高スペック男性」と巡り会い、結婚できたとしても。「夫婦生活」が続く云々どころか、

北斗のケンシロウ:「お前たちの人間関係は既に死んでいる」

結婚式、新婚旅行などの、男女力を合わせて、物事に取り組む場面で、互いの「本性」が見え隠れして、新婚旅行中に溝が深まり空港に到着した時には、離婚を考え始めることになる。

将来性のある独身男性は無一文であることが多い。一代で億超え男性になる男性は、往々にして無一文であることが多い。奥様になる人間と巡り会った後、稼げる人間へと化けているようなのだ。

例えば、日本の物販大富豪ファーザーは、21 歳の頃奥様と巡り会い結婚。しかし、その時には、たったの 10 万円のお金しか無かったとのこと。学歴も漁業専門学校で大学は出ていない。「ワシの元本は 10 万円」・・・ということで、今でもダンスの中に、10 万円の現金を置いているという。

例えば、香港の物販大富豪ミスターD は、高校卒業した後無一文の状態。T シャツと短パンの格好で、今で言う香港の AEON やヤオハンなどの日系企業のバイヤーに商談に行っていた。その頃に奥様と巡り会い、一度も飛ばすこと無く今に至る。

例えば、中国の物販大富豪、ミスターシエは、中学卒業せず都会に逃げてきて、工場の皿洗いからスタート。その後、コピー商品を作るビジネスを始めようとした頃に奥様と巡り会い、日本のコピー商品を中国中に何千万個単位で売りさばき、一代で財を築き上げた。

例えば、76 世代の代表的な IT 実業家の場合も、1 つ目の事業、知人と立ち上げたショッピングカー

トのビジネスを儲かる兆しが見えた時点でビジネスから追い出されて失敗。2 つ目の事業幼馴染と立ち上げた会社が 1 ヶ月間でケンカ別れで失敗。最初の会社を 1 年半で辞めるも、25 歳で再就職することに。・・・こういう、どん底のボロボロの状態の時に、奥様と出会い結婚。

その後、独立起業を果たし、ビジネスもトントン拍子でうまくいくようになり。今では、高収入、タワー型マンション、外車ベンツ、海外不動産、という理想的なハイスペック男性になった。

例えば、孔明の幼馴染も、奥様と出会ったのは、お金とかそういうものにもまったく興味もない高校 1 年生の頃。

孔明の膨大なデータベースの中には、同様なことが、パターンが見られている。

こうした真実を、知ってしまっている、孔明たちのところに訪ねて来てくれた方々には、こういう「ふこう」は体感して欲しくない。

「高スペック男性」への幻想を捨て去り。代わりに、「将来的に伸びしろのある男性」と巡り合い、恋愛を謳歌してもらおう。

恋愛の延長上にある結婚というオプション。「命運のパートナー」と巡り合い、「シアワセ」に溢れた人生を送ってもらうためのお手伝いができるよう。

データベースや法則を元にした、研究を積み重ね、サポートさせて頂いている。

当然ながら、孔明は「必殺技」を提案可能な状態である。「男女の陰陽太極図」並びに、膨大なデータベースから算出した、決定打を打てる「必殺技」を。

例えば・・・今はうだつが上がらない独身男性だとしても将来的に昇る男性の決定的な判別方法。たった一度のデート中、ランチ&イトーヨーカドーだけで、守りを固めながらも攻め、さらには将来昇る男性を判別する方法。一枚の写真を活用して、沢山の候補男性を確保する方法。などなど、どれも女性誌とかにも全く書かれていない方法ばかり。

こういう「必殺技」を、『命運の門鑑定』の中で、それぞれの、門、命式、星、命運のシナリオなどの生まれながらの資質と照らし合わせながら、提案させて頂いている次第である。

○「夫婦」仕事に行くのはどっち？家庭に入るのはどっち？

「命運の門鑑定」を通した鑑定の中で、夫婦の仕事のあり方について質問されることがある。「うちは今、夫婦共働きです。このままこの状態を続けて良いのでしょうか？」「私は今家庭で専業主婦をしていますが、働きに出たいと思っています。」「旦那は会社の仕事のやる気が無いようです。旦那に専業主夫になってもらい、私が働きに出たいのですが。」このような質問を、頂戴する時がある。

この時孔明は鑑定士として、どのような視点から、アドバイスをさせて頂いているのか？ 言語化させて頂きたい。

働くことが必至では無い国「日本」。孔明は普段世界各国を旅していることもあり、日本を諸外国から見ている状況。そんな孔明が、たまに日本一時帰国した時に感じることもある。

それは、孔明たちが生まれ育った日本は、「働くことが必至では無い国」だということだ。

「世界の一人当たりの GDP」では 1996 年に世界 3 位に位置したのを最高に、現時点ではかなり下り坂。2016 年時点では、日本は世界 22 位になっているが。

「世界の一人当たりの GDP」1 位ルクセンブルク、2 位スイス、3 位ノルウェー、4 位マカオ、8 位アメリカ、10 位シンガポール、16 位香港、22 位日本。それでも日本はまだまだ裕福だ。

日本の一番凄いところは、GDP という数字には出てこない部分。社会保障などもしっかりと整備されていて。

マカオ、シンガポール、香港などと比べても、国土も広いし、資源も豊富にあるので、日本国内で生きている限り、何もしなくても生きていくことはできる。

その証拠に、少し日本の田舎に車を走らせば。国道沿いに、無人の小屋があり、野菜が並べられている。

こんな光景は、日本以外の国では絶対に見ることはできない。孔明たちの両親の世代にあたる段階の世代も豊富にお金を持ってるとし、その上の世代ももっとお金を持っている。

この日本において、仮に自分が「ニート」になったとしても、子供たちが「ニート」になったとしても、生きていることには何の支障も無い。

それこそ、日本人の得意な「おじぎ」とかで、両親や他人に頭を下げることさえできれば、高い確率で

施してくれて、絶対に生きることができる。

この日本で生きることができないとしたら、それは無駄なプライドが邪魔をしているだけに過ぎない。

一度俯瞰レベルを一つ上げて、この状況まで割り切って見ると、様々なことがフレキシブルに考えられるようになる。

おじいさんは山で狩りに、おばあさんは川に洗濯に。NHK の連ドラとかでも、何度も見たことがあるが。昔の時代では、圧倒的な男女差別があり、夫婦であるのなら、男性が外に出て労働をしなければならぬ。

女性は家の中に入って専業主婦にならなければならない。・・・的な、半ば強制的な慣習があった。反すると、社会全体から白い目で見られるような。。

けれども、今の時代にはまだまだ社会の構造的には、男性と女性が不平等な扱いを受けてしまっていることがあるが。

それでも、女性が社会に出て働いていたとしても、社会全体から白い目で見られることは無くなっていく。

だから本来であれば、男性も女性も、仕事をやりたければ仕事をやればよい。男性も女性も生きるための仕事をする必要は無い。

男性も女性も仕事をしたくなければ、仕事をしないで、両親や親戚、他人に、頭を下げる練習だけすればよい。

男女共に、「やりたい仕事」だけをやれる権利も選択肢もある。こう、言語化することができるのではないだろうか？

「勤労の義務」または「労働の義務」。「仕事をしたければすれば良い！仕事したくなければしなければ良い！それは「勤労義務」の憲法違反ですか？」という部分に対する見解を理解しておく必要がある。

日本国憲法において「勤労の義務」は、日本国憲法第 27 条第 1 項に「勤労の権利」と並んで置かれた義務規定であり。教育・納税と並ぶ日本国民の三大義務とされている。

日本国憲法第27条「すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負ふ」。日本では、私有財産制を認め(日本国憲法第29条)職業選択の自由も認められている(日本国憲法第22条)。よって、不労所得生活も十分に可能。立法によって、国民へのあらゆる強制労働を許容するものではなく(日本国憲法第18条)、違反者に対する具体的な罰則を課すよう立法や行政に義務付けるのでもない。

また、不動産収入などの不労所得や、金利生活者の存在を否定するものでもなく。両親から養ってもらうものを否定するものでもない。

けれども、日本国憲法の「精神」からいえば、生活するために勤労する必要が無い人も、勤労に従事し、勤労によって得られる所得を社会のために提供する。

家族や親族など、自分以外の他の人の生存権(日本国憲法第25条)を保障する心構えが大切である。・・・という見解。

憲法の規定では、「労働権」の保障と対応して、ある種の「精神的規定」に留まっている。

もっとも、ここ最近では、「勤労の義務」は、主に国家が国民に対して、勤労の場を確保することができるよう義務付けているという見解が濃厚。

その見地からすると、「勤労の義務」とは、労働の能力がある国民が、失業状態にならないように国家が適切な施策を講じることを義務付けているものと見える。

けれども日本は、社会主義国ではなく、労働の機会のすべてを掌握できていないので、全ての失業対策をする義務を紹介できない。

なので、勤労の義務とは、日本国民側の義務の方が重要なのではなく。

「勤労機会を与える国の義務」。日本国が国民に対して、職業安定法などで、失業対策をする義務を負っているとされる考えだ。

実際に今日の日本国憲法の性質と、日本国民の実態から見れば、こちらの方が的を得ているかもしれない。

夫婦の仕事に関して言語化する際に、この部分だけは把握しておく必要がある。

仕事と家庭の陰陽のバランス。以上の背景を理解した上で、言語化したいことは、全ての女性は、働きたければトコトン働いて良いということ。

結婚して子供が生まれたとしても、出産と育児が終わったら、夫になる男性に、専業主夫になってもらい、育児と子育てに専念してもらい、自分は外に出て、トコトン仕事だけに専念しても良いということ。

さらには、子供がいなかったとしても、夫となる男性に専業主夫になってもらい、自分がトコトン仕事だけに専念することもアリということ。

逆に、従来 of 常識のように、自分が専業主婦となり、家庭だけに入る道を選び、夫となる男性だけに、仕事に集中してもらっても良いということ。

重要なことは、仕事に専念するにしろ、家庭に入り専念するにしろ、自分が本当に「やりたいこと」をやれているか？ということだ。

一番重要なことは、「お金を稼がなくてはならないから・・・」「しなければならない」ということで、女性が仕事をする。夫婦で共働きの道を、苦渋の決断で選択してはならないということだ。

夫婦である男性か女性どちらかが、一人で稼ぐと年収 400 万円。夫婦共働きで、二人で合算すると 800 万円。

というような計算の元、もっとお金を貯めないとならないから・・・と無理に仕事に出てしまうと、「仕事がつらい・・・」と、不安と悩みの気持ちを抱え続けることになる。

両方が無理やり仕事に出ている時、この不安と悩みの気持ちが積もっていくと。間違いなくと言ってよいほど、家庭内の陰陽の調和は破綻する。

ビジネスで言うと経営破綻である。外での仕事もビジネスであるが、家庭の中の仕事もビジネスと同じ。

夫婦関係に基づく家庭内のマネジメントも、ビジネスと同じくらい、時間と労力をかける職務分担的なものが必要で。

さらには、それが夫婦にとって、「しなければならないこと」ではなく、「やりたいこと」になっていないと、いとも簡単に家庭のマネージメントは崩壊する。

1 つがうまくいかないと、2 つともだめになり、総倒れになる可能性も高い。

陰陽の調和を考えた時、理想的な夫婦の組み合わせは、主に 5 種類、

「トコトン仕事だけをやりたい男性と、トコトン家庭だけをやりたい女性」

「トコトン仕事だけをやりたい女性と、トコトン家庭だけをやりたい男性」

「仕事も家庭も程よく楽しみたい男性と女性」

「トコトン仕事だけをやりたい男女 家庭内はお手伝いさんか親戚」

「トコトン家庭だけをやりたい男女 仕事は投資とか不労所得」

・・・このような組み合わせになってないと、家庭内の陰陽もだめになり、仕事もうまくいかなくなる。

これは自然の摂理であるので、これに反するとすぐに破綻するようなのだ。

実は孔明兄弟がサンプルとして分かりやすい。

たとえば孔明の夫婦の場合は、「トコトン仕事だけをやりたい男性と、トコトン家庭だけをやりたい女性」の組み合わせである。

これは、孔明が無理やり奥様に、「家庭だけに専念しろ！」とか命令しているわけでもなく、出会った頃から、奥様は「家庭に専念したい！」と時空に宣言していた。

たとえば奥様は、孔明が大学 1 年生の頃、「私は洗濯物をたたんでいる時が一番シアワセ」とハッキリと言っていた。それは 20 年間経過した今でも、奥様はまったく同じことを言っている。

逆に、孔明は高校生の時に、「一生掃除洗濯炊事をやらない！」と時空に宣言していた。

小学・中学校の時に、共働きの両親に、毎日お手伝いをやらされていた時に、無理やりやらされていた感が強く、掃除、洗濯、お茶碗洗い・・・心の奥底から本当に嫌だった。もう生涯の中で、絶対にやりたくない！と心の奥底から思うようになったのだ。

ということで、夫婦共に裏表なく純粹に自分がやりたいことだけをやっている形になり、それが、仕事に集中と家庭に集中、キツカリと別れているので、家庭内の陰陽のバランスは、保たれている状態と分析することができる。

ちなみに、孔明弟の夫婦の場合は、これと全く逆のパターン。孔明弟の奥様は、バリバリの IT 系サラリーマンで仕事に出ている。孔明弟は、専業主夫として、家庭内に入り、子供たちの子育てに従事している。

「トコトン仕事だけをやりたい女性と、トコトン家庭だけをやりたい男性」の組み合わせである。まあ、孔明弟には、お金だけを増大させる方法として、自宅で「北のセオリー」はやらしてもらっているが、あくまでも専業主夫としての仕事が孔明弟にとってもっとも大切な仕事である。

孔明弟の夫婦も共に、やりたいことをやっている状態である。孔明弟は、以前酪農の仕事に従事していたが、幼い頃から、動植物とか育成するのが大好きだったし、非常に優しい心の持ち主だった。ハムスターとかも、飼っていたりしていた。

けれども、仕事をしなければならぬ的な社会人になった時、普通の仕事につきたくないから、なるべく自分のやりたいことに近い仕事として、酪農の仕事に従事。

以降、月収 20 万円で、酪農の仕事を 10 年以上続けていた。でも、孔明弟にとっては、本来外に出て仕事・・・というのは根本的に、「しなければならぬこと」だったようで。重度のリウマチにかかり、ボロボロの状態になってしまった。

そこで、自宅でのんびりお金だけを増やせる、「北のセオリー」を開始させ、専業主夫になってもらったのだ。

孔明弟の夫婦もこうして、家庭内の陰陽調和が取れるようになったのだ。

たまたま、うちの兄弟夫婦は、男性と女性の役割が真逆で、非常に分かりやすいサンプルになっているが。孔明たちが生まれ育った日本は、「働くことが必至では無い国」とも言える前程がある背景がある中で。

男性が仕事に出ようが、家庭に入ろうが、女性が仕事に出ようが、家庭に入ろうが、どちらでもよいのだ。

重要なことは 2 点、男女共にそれが本当に「やりたいこと」であるか？仕事と家庭それぞれの陰陽の調和は取れているか？この部分の方が重要である。

「俯瞰レベル」を一つ高めた見地から、データベースも活用しながら、「命運の門鑑定」の鑑定などを通して、夫婦の調和をアドバイスさせて頂いている次第である。

○「型式美」愛とお金の方程式

お金持ち男性たちがデートをした後、お金持ち男性:「無益なお金・時間・労力を費やしてしまったな。。」とデートをしたことを、一人深く反省し瞑想させてしまうような女性。その場合、お金持ち男性は、その女性との関係は、すぐに断ってしまう。

一方、お金持ち男性たちが、ハマり続ける女性というものも存在する。お金持ち男性がすぐに関係を切る女性、逆にずっとハマり続けてしまう女性、その両者間の違いはどのようなところにあるのだろうか？

お金持ち男性が、結果としてお付き合いを継続している女性はお金持ちになる傾向が強い。お金持ち男性が、途中で見切ってしまう女性は結果として貧乏している。単純に、「お金持ち男性が、お付き合いしたい女性」なら、男性がお金出してくれたりしてお金持ちになれるのでは。。。と、思うかもしれないが、それは順番が逆である。

実際お金持ち男性的には、お付き合いする女性がお金持ちだろうが、貧乏だろうが。どちらにしても、お食事にしても、お買い物にしても、旅行にしても、お金持ち男性が女性に対してお金を出すので関係ないことだと思うが、結果として、お金持ち男性が継続的にお付き合いしたいと思う女性は、お金持ちになれるのだ。

生まれ育ったのが、貧しい村の子だったとしても、比較的早い段階で、お金持ち男性に見初められるか、昇っていく男に掴まえられるかで。そういう女性はどちらにしても、結果として、いずれお金持ちになってしまう。

その理由はなぜなのか？を「大人の保険委員長」として俯瞰レベルをひとつだけ上げて考えて見たところ、一つの結論にたどりついた。

それは、「形式美」である。

お金持ち男性がお付き合い継続したいと思う女性。。とにかく、お金持ち男性にとってわかりやすく、お付き合いするまでの過程において、お付き合いしている最中において。お金持ち男性が思い抱くシナリオ通りに物事が運ぶ。(※ただし、長くお付き合いした後は、メチャクチャ怖く豹変する。。)

一方、お金持ち男性がすぐに関係を見切ってしまう女性は、とにかく「ややこしい」。

お金持ち男性は、ビジネスも恋愛も、「形式美」というものを重んじる。お金持ち男性ほど、女性とのデートの際、予め思い抱くシナリオというものが存在している。

そのお金持ち男性の期待に、応えてくれ無い女性というものは、「形式美」に則った「暗黙の了解」、「お約束」的なものを全て、ものの見事に裏切ってくれるようだ。

お金持ち男性は、「形式美」を大切に生きてきたからお金持ちになれたので、「形式美」を破る女性のことを、すぐに嫌いになってしまう。

実は、お金持ち男性ほど、不規則に感情とかノリの言動をしているわけではなく、「男女の陰陽太極図」として公開している、男性側の「形式美」に則って、考え行動している場合が多い。…だからこそ、仕事もうまくいき、サラリーマンでも出世して、経営者でもビジネスが成功して、富裕層になれるわけだが。。

お金持ち男性が重要視する「形式美」。それに答える形で、お金持ち男性のパートナーとして「形式美」に則る形で舞い続けることができる女性たちは、結果として、時空の中で、愛も財も掴むことができる「配役」がもらえているだ。

一方、ややこしい…お金持ち男性が重んじる「形式美」を無視してくる女性たちは、時空の中で愛も財もどちらも掴むことができない「配役」が回ってきてしまうのだ。

「お金持ち男性」…

- ・現時点でお金持ち男性、将来富裕層に昇る可能性を秘め持つ男性。
 - ・現時点でお金持ち女性、将来富裕層に昇る可能性を秘め持つ女性。
- 彼らが長くお付き合いしたいと思わない男性と女性。

ビジネスでうまくいかない方々、会社の中で出世できない方々、とイコールになっており、基本みんな「形式美」を無視してしまう方々ばかりである。

たとえば経営者としてのビジネス構築というのは、経営者がやりたいことをただ適当に構築しているわけではなく、世の中から望まれていること＝「形式美」の「型」通りに構築するところに美学あり。

それが、結果として世の中の人たちに受け入れられてビジネスとして成り立つのである。ビジネスで成功させるためには、男女共に「形式美」の通りに考え行動して行くことが求められる。「お約束」あつての、儲かるビジネスなのだから。

逆に仮に生まれがお金持ちであったとしても、大人になって貧乏になる人というものは、男女ともに「形式美」を無視する形で考え行動して行く。

「形式美」に則った言動にすると、結果として、愛と財に恵まれていくという時空方程式なのだ。

ということで、「形式美」を学び、「形式美」の通りに舞うことが、愛と財に恵まれる、近道なのだ。

もしも今、女性が今「お金が無い・・・」と悩んでいる状態だとしたら。それは、女性自身が悪いというよりは、時空に祝福される「形式美」を知らなかったり、「形式美」の通りに舞い続けることができていなかったりしている状態なだけ。

だから、「これから新たに！」であったとしても、「形式美」の重要性に気づき、時空に祝福された愛と財に恵まれた人生を歩んでもらいたいと思う。

追伸

お金持ち男性に、「ややこしい」と感じさせる女性たち。＝「形式美」を無視した形のままだと、「メンヘラの男」しかよって来ない。。もしくは、下り坂の元お金持ち男性を、下る直前で掴む。これは残念。。

お金持ち男性を掴む&お金持ちになれる女性。。入り口は入りやすいが、一度入ったらそれはそれは恐ろしい。。。どんなに優しく可憐な村娘だったとしても、結婚後は俗に言う「恐妻」へと、「ポケモン進化」を遂げる。。そして、お金持ち男性を、さらに上げ続けてくれる。

これもまた、太古の時代から脈々と続く「形式美」。

○富裕層男子に彼女ができない悩み

孔明の個人的な交友関係には、年上・年下年齢問わず、既婚・独身問わず、富裕層男子が多い。お金、時間、場所の自由を持っている、富裕層な男子たち。。

ゴルフとか遊びに行くときも、食事に行くときも、飲みに行くときも、結果的に、富裕層男子たちと行く

ことが多く、自ずと「ボーイズトーク」も、平均収入が高い状態での、武勇伝や、不安と悩みになってくる。

年収が高くて、お金・時間・場所の自由を持っている、富裕層男子。。とえば、世間一般的には羨ましがられる対象となる場合が多いはずなのだが。実はそんな彼らにも、深い悩みというものがある。それは・・・富裕層男子が独身の場合、なかなか「彼女ができない」という問題である。

富裕層の独身男子の抱えている問題、「彼女ができない」その理由というものが、話を聴いていて「なるほどな」と思うことがあったので改めて言語化させて頂く。

「そりゃ難しいは・・・」と納得してしまう部分もある。お金と時間と場所の自由を持つ、富裕層独身男子たちがなぜ「彼女ができない」のか？

孔明が毎月世界どこかの国で集まって喋ったり飲んだりを繰り返している仲間たち。

30代、イケメン、金持ち、独身・・・という、傍から見ると「無敵状態」とも思える男たちが何人もいる。

けれども、彼らが現時点の状況で、新たに彼女を作ることは本当に、本当に、難しいようだ。

その理由は・・・「女子とのデートの価値を、ビジネスからの自分の日給と、単純比較してしまう！」ことにある。

どういうことなのか？説明しよう。例えば、月収が300万円の30代独身のP君。日給で換算すると、一日当たり10万円の日給となる。「月収300万円÷30日間=日給10万円」。

実際には、毎日仕事したことが、そのまま日給10万円というような形で、入ってくるというわけでは無いのだが。月収300万円ベースだと、1日の自分の行動が、日給10万円分になって頭の中で自動的に換算されてしまうようだ。

すると・・・仮に1日仕事をせずに、女子とのデートの予定を入れたとすると。。お食事代、お買い物代、旅費交通費・・・諸々の実際のデートにかかる費用とは別に、見えないコストとして、日給10万円分が加算されるかの如く、頭の中で自動的に計算されてしまうのだ。

しかも、富裕層に昇ることができるような男子ほど、お金に関して大雑把ではなく、お金への執着も強く、お金の計算に細かい。

最近はインターネットを活用することで、基本独り&外注活用で、年収 3,000 万円～1 億円の規模のお金を軽く稼ぐ男子たちも多いので、自分の行動を、日給 10 万円～換算する男子も孔明の周りには増えてきていると思われる。

例えば、富裕層男子とデートをした時、女子から見れば、「かかった費用は、喫茶ルノアールで支払った、コーヒー&ケーキ代の 3,000 円だけじゃないか！」・・・と思うかもしれないが、富裕層男子の頭の中では、

日給 10 万円+3,000 円+交通費云々「10 万 3,000 円++」のコストとして自動計算されてしまう。

その日の女子とのデートが、自分の日給と比べて価値があるかどうかをじっくり計算してしまうのだ。これは非常に難しい問題である。

おまけに、世の中の男子たちは、女子に対して費やしたお金の金額を、かなりの割合で憶えているのだ。。

デートをする女子に対して、1 日 10 万円の見えないコスト+おごってもらうお食事・お買い物・交通費・・・などの、価値を見いだせなければ二度目のデートなど、絶対にしたくないということになる。

さらには、孔明には年収 1 億円以上のお友達も何人もいるが、彼らの場合に至っては、見えないコストとして、日給 30 万円ものお金が、頭の中で自動的に計算されてしまう。

富裕層男子は、女子とのデートに対して、日給 30 万円++に相当する価値を見いだせないと、その女子とのデートにまったく価値を感じなくなり、「無駄にデート行くくらいなら、家に籠ってパソコン向かって仕事した方がマシ！」・・・と、家に籠ってしまうのだ。

富裕層男子が「1 日 30 万円分の価値」を見いだせるデート。。。一体どういうものなのか？

30 代の富裕層男子たちが、女子とのデートにおいて最も望むこととして。「大人の関係」というものがあるが。

しっかりと、「形式美」通りに、ここの部分が抑えられる女子とのデートであれば。「価値があった！」と自己満足に浸れる可能性も上がるが。

女子とのデートで、相手が焦らしたり、先延ばしにしてみたり、駆け引きしてみたり。無駄に、自分の時間だけを浪費させた女子。

富裕層独身男子が、自ら思い描く「形式美」通りに物事が進まない。

「マジで無駄な時間を過ごした！オレの日当分のカネ返してくれ！そんなだったら、一人で黙々と仕事してた方がましだった！」・・・と、独り裏で激怒することになる。

そして、自分に「膨大な被害」を与えた女子とは、「二度とデートしたくない！」となってしまうわけだ。

女子から見れば、なんて自分勝手な・・・と思われるかもしれないが。富裕層男子も、自動的に出てきってしまう思考なので、だから故に苦しみ続けているのである。

「形式美」を破る女子たちによる損害事件

一例を挙げてみよう。「ボーイズトーク」の中で繰り広げられているようなネタ。

女子の方から見たら、かなりドン引きしてしまうようなお話であるが。推定年収億超えの Y 君に最近 100 数十万円の損害事件が発生してしまい。飲みの席で盛り上がっていた。

それは・・・亡国某所、とある女子が、留学に行っていた。この女子を A 子としよう。

Y 君と A 子は元々面識があるが、Y 君はお仕事で忙しく、A 子は語学留学へ。遠距離のため基本はチャットでやり取りをしている。

そんな中、A 子が Y 君に、「寂しいから遊びに来てください！」と誘いをかけた。「ボーイズ B」的な思考に基づく連想で言うと、海外、お誘い、寂しい、旅行・・・とあらば、普通の友好関係から、次の「大人の関係」ステージに進むシグナルと判断する。

Y 君も A 子のことをファーストインプレッションで多少なりとも気に入っていたこともあり、チャットで相談をしながら、どこに宿泊しようか？→高級ホテル。何を食べようか？→高級レストラン・・・そして、3泊4日ほどかけて、飛行機を予約して、Y 君が A 子のところに会いに行くことになった。

「億り人」な Y 君としては、日給 30 万円分 x4 日間分=120 万円の見えざるコストと、ホテル代、飛行機代、お食事代、、、を使っての一大企画である。

けれども、そんなY君に事件が襲った。それは、Y君がA子の住む某国に到着した日。A子が次のようなメッセージを送ってきたのだ。

A子→Y君:「今更？って思ったらほんとにごめんなさい。わざわざ来てくれて美味しいところも連れてってくれるっていつてるのに本当に申し訳ないですが、泊まることに関して、まだ実際二回目でもしそういう関係になるってなると私的にまだちょっとなって思う部分があって、そこに関してどう思いますか？」・・・ガガガガン！「痛恨の一撃」

Y君はその時点で、かなりのダメージを受けた。Y君は、仕事の世界でも「形式美」を理解してるからこそ、「億り人」へと昇った。表面的には「形式美」通りに、A子に対して優しく接する。

予め約束した高級レストランで食事。ただし、既に予約してしまった高級ホテルに独りで宿泊。。である。

しかも、次の日A子は、「頭痛がうんちゃら」とか言い出して、Y君は、既に予約してしまった高級ホテルに3泊4日独りで過ごすことになった。

Y君は表面的に、A子に対して、悪態をついたりはしない。けれども、内心はかなりの「憤怒」である。

Y君:「マジでそんなんなら、最初っから言えよ！！」・・・ただし、救いと言え、

初日:飛行機=半日潰れる=15万円の損失

2日:デート=半日潰れる=15万円++の損失

3日:気を取り直してフリーでお仕事=損失無し

最終日:飛行機=半日潰れる=15万円の損失

見えざる日給コスト120万円++かかるところ。45万円++で抑えることができた！・・・と自分を納得させることになる。

そして・・・

Y君:「A子とは二度目は無い！（キッパリ）」と、A子のことを、自分に大きな損害を与えた「ややこしいオンナ」として、直ちにブラックリストに入れてしまうのだ。

こうして、独身男子Y君には、結婚相手どころか、彼女どころか、ブラックリストに列挙される女子だけ

が、積み上がって行くことになる。

仮に男子の方が、職なし無一文の時に、女子と出会っているのであれば。女子とのデートに時給換算、日給換算的なことは一切無いのだろうが。

独身男子にも関わらず、既に月収 300 万円～1,000 万円以上収入が入ってくるような場合。自動的に、日給換算してしまう思考が芽生えてしまうため。

結婚相手どころか、日給 10 万円分、日給 30 万円分以上の価値を見いだせる、自分にとっての理想的な彼女を見つけることはとてもとても困難な状況に陥ってしまうようだ。

富裕層男子を虜にする女子たち。「オレの日給 10 万円返してくれ！」「ボクの日給 30 万円返してくれ！」女子とのデートをする度に、そう考えてしまうことが多い、富裕層独身男子たち。

ただし、時折、そんな富裕層男子たちを、「虜」にしてしまう女子たちも存在する。

今回の台北入りの時に確認したところ。何名かの富裕層男子が、女子に対して超前のめりな状態になっていた。

孔明:「あれ、女子になんて興味ない！って言ってましたよね？クスクス」・・・という男子までもが、すごく女子との恋愛にハマってしまっていたのには驚かされた。その女子のことをお話する時。明らかに顔は高揚し、笑顔になっているのだ。

つまり、日給 10 万円～日給 30 万円などの富裕層男子な彼らが。日給 10 万円以上の価値、日給 30 万円以上の価値を十分すぎるほど見出すことができる女子と巡り会い、お付き合いすることができていることを意味する。

そんな、富裕層男子の彼らが、前のめりになってしまう女子にはとある共通点があった。

富裕層男子の彼らが、前のめりになってしまう女子には共通した「形式美」というものが存在する。

富裕層男子の彼らが、前のめりになってしまう「形式美」に沿った言動を、女子は見事に富裕層男子の彼らの前で演じ続けてくれているのだ。

・・・でも、こういう風に改めて言語化して考えてみると。女子の方も、人によっては、最初から富裕層男子とお付き合いしようとか思わないで。自分の力で富裕層に昇った方がシアワセな場合も多

い。

どの道男子は、自分が貧乏な段階からお付き合いしてくれて、自分が昇る過程で一緒にいてくれた女子には感謝するが。富裕層に昇った後の状態でお付き合いした女子には、感謝してくれない場合が多い。

・・・ということで、仮に富裕層男子と結婚したいのなら、最初から富裕層の男子と結婚するよりも、富裕層男子の資質を秘め持つ男子を、赤サビだらけで、道端に転がっている状態で発掘して、自ら磨き上げて昇らせるのが一番ではないだろうか？

もしくは、必殺『ナイアガラ』を富裕層男子に炸裂させるか・・・。

真田孔明@四柱推命鑑定士による「命運の門鑑定」

○鑑定時間:1回の「命運の鑑定」のお時間は約2時間が目安

○鑑定可能スケジュール:

真田孔明のスケジュールを参照(※随時更新○が入っているところ2時間連続で可能)

<https://sanadakoumei.com/slby>

○鑑定場所:

- skype、LINE、メッセージャーの場合は真田孔明滞在場所問わず対応可能
- 真田孔明個人 LINE の場合※QR コードスキャン:https://sanadakoumei.com/doc/koumei_line.jpg
- Facebook メッセージャーの場合:<https://www.facebook.com/koumei.sanada>
- skypeID: koumei60

•オフでの鑑定希望の場合:

予め予定している滞在場所に合わせて頂く形で可能。しかし、滞在場所から距離が離れている場合(飛行機、新幹線など)、別途旅費交通費・宿泊費などを請求させて頂く。※前後のスケジュール合わせて別途ご相談。

○事前に学習推奨する「無料教材」

※2時間の鑑定をより有意義にするために事前に学習頂くことを推奨。基礎情報を知らない場合基礎のお話だけで多くの時間を費やしてしまうため。

☆「門24時間動画講座」=市販の書籍購入で無料

<http://sanadakoumei.com/lp/shura/>

☆「5ポケット LINE 講座」無料

https://kitasociety.com/lp/5pockets_line/

○「命運の門鑑定」申込

<http://order.sanadakoumei.com/kantei/>